



南桜風

鹿児島大学工学部同窓会会報



第17号



平成31年3月15日発行

ごあいさつ

同窓会会長 松 永 洋 文	2
工 学 部 長 渡 邊 睦	3
O B より 中 田 達 也	4

各学科・専攻の状況

機械工学科	5
電気電子工学科	5
建築学科	6
環境化学プロセス工学科	7
海洋土木工学科	8
情報生体システム工学科	9
化学生命工学科	9

在学生から

在 学 生 佐 藤 誠 也	11
在 学 生 小 畑 啓 介	12
在 学 生 和 田 大 典	13
留 学 生 LEE LE HOOI	14

工学部体育祭

教員の異動

部会だより

機友会	17
錦水会	22
A O I 会	27
南窓舎密会	32
しらなみ会	36

稲盛賞・学部長賞他

岸園賞

進路状況

工学部同窓会役員・ 部会各支部役員名簿

本部だより

特別寄稿

工学部同窓会諸活動支援報告

工学部同窓会学生諸活動 助成金報告

会則

編集後記

広告掲載

会報「なんおうふう南桜風」を同窓会ホームページに掲載しています

工学部同窓会では会報「南桜風」を発行し、大学の近況や学科の様子、各部会の活動状況、新卒者の就職・進路先などを紹介しております。また、創刊号からの会報をホームページ（HP）にも掲載し多くの会員の皆様へご覧いただけるようにしました。どうぞご覧ください。

工学部同窓会ホームページ <http://kadai-eng-dousou.sakura.ne.jp>

会報「南桜風」の郵送が不要の方へのお知らせ

会報は会員の方で住所が判明しているすべての方へ無償で配布しておりますが、皆様のご希望により“郵送は不要”とお申し出された方には次号より郵送を中止とさせていただきます。下記の書式にてFAX・メールでお知らせください。＊メール・FAXでの連絡内容

会報の郵送不要：氏名・住所・卒年・学科

メールアドレス変更のお知らせ（同窓会事務局のアドレスが変わりました。）

＊新メールアドレス：kadai.eng.dousoukai@gmail.com

同窓会名簿第16号発行のお知らせ

工学部同窓会では同窓会名簿第16号を2020年に発行します。

発行に向けての作業を2019年度より始め、まずは6月以降に会員の皆様へ氏名、住所等の確認ハガキを送付いたしますので、内容をご確認ください。

また、現在61%の判明率を高めるように情報の収集を行いたいと考えております。同期の方などの情報をご存知でしたら是非ご協力ください。なお、ご提供いただいた情報は個人情報保護法を順守し、ご本人へ確認をとったうえで編集作業を行います。

会員の皆様方にはご理解を賜りたく、さらに同窓会名簿第16号の作成につきましては従来に増してのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【お知らせ】

名簿作成は3年毎となっておりますが、名簿代金の高騰が避けられないことなどを鑑み、5年毎の作成とすることが2018年拡大幹事会で決定しました。

作成にあたっては、**名簿業者(株)サルト**に委託します。

(株)サルト

所在地 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

設立 昭和48年9月1日

代表者 代表取締役社長 福田裕一

従業員 188名 (H30年4月現在)

事業内容 同窓会・各種団体の会員情報管理

同窓会名簿の調査、編集、発行

会報・会誌の編集印刷、各種郵便物の発送代行

オリジナル制服リカちゃん制作、各種記念品作成

HPの企画制作、運営管理代行

同期会・クラス会・OB会開催の幹事代行

電話 / FAX : 099(285)3494

なお、メール・FAXで送れない方は電話にてお知らせください。(FAX番号と同様)

ただし今回メール・FAX・電話にて連絡された方であっても、数年後に郵送の再開を希望される場合はご連絡いただきますと送付いたします。

なお、郵送不要と連絡済みの方にも郵送された場合は、お許しいただきますとともに改めてお知らせいただければ幸甚に存じます。

住所変更の連絡のお願い

現住所が変更になられた際は同窓会にもご連絡ください。同窓会のHP「異動の連絡」あるいは電話・FAXにてお知らせください。同窓会より名簿発行などのお知らせをいたします。

会報「南桜風」第18号に関して

2019年度は名簿作成年のため、会報の作成・発行はありません。



い
あ
い
さ
つ

工学部同窓会会長（海士52）
松永 洋文

鹿児島大学工学部同窓会会員の皆様にあらためましてごあいさつ申し上げます。お変わりなくお過ごしでしょうか。

私は引き続き二期目の同窓会長を引き受けることになりました。2020年度まで工学部同窓会の運営に新たな気持ちで携わります。

これまでどれくらいの活動を為しえたか、私なりに総括し、皆様の評価・指摘をいただきながら努めてまいります。

国内各地で稀有な災害が発生しております。九州北部、西日本の豪雨災害、大阪、北海道の地震災害等々と想定できないような被災状況を目の当たりにし、心が痛みます。該当地域の同窓会会員へ思いを寄せ、皆様のご無事を祈りつつ、不幸にも被災された方や関係者へ心からお見舞い申し上げます。

「岸園賞」の表彰者は継続して推薦をいただき、同窓生の各分野での活躍や工学部への貢献が改めて認識される機会となっております。今後も、先輩・同輩・後輩の埋もれた功績を陽のあたる場所で評価されますよう、引き続き推薦をお願いします。また、例年の海外留学の経験者と留学希望者との情報交換会への支援、各部会での卒業生と在学生との交流会の開催等に対する支援については活用が広がり、学生会員が卒業生からの貴重な経験談を聞ける機会となって好評価を得ています。在学生への助言・提言の講演依頼が有りましたら積極的な対応をお願いします。

卒業生と在学生、部会と部会、支部と支部など様々な枠を超えた交流や活動への支援を広げることができたらと考えております。

昨（H29）年度から学部の改革が検討されているとお聞きしています。どのようなかたちとなるのか、また同窓会へはどのような形の影響があるのか、注視してゆくことになろうかと思います。

公表される情報は機会をとらえて皆様にお伝えしてゆきたいと思います。

工学部創立七十五周年事業は、組織の立ち上げはなされたものの準備が遅れておりますが、会員の皆様の想いを実現できますよう進めてまいります。同窓会では寄付金を募るための期成会を組織しました。各部会からの通知があったかと思います、各部会の支部長さんは理事としてご協力いただくことになります。工学部との連携も図りながら会員皆様へのご協力を要請してまいります。よろしくお願いいたします。

平成27～28年度に一期目、平成29～30年度に二期目の学部長職を勤め、今年度が最終年度となりました。これまでご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

平成27年4月に就任して直ぐに、長期的な視野の下で工学部の将来計画を策定する目的で、副学部長、学部長補佐、総務部長（平成28年度より欠員）、総務課長、学務課長から成る工学部将来計画ワーキングを立上げ、従来の教育・研究・運営体制を抜本的に見直す方策を推進してきました。その成果として、研究教育両面の活性化をめざした「エクセレント・レクチャラー表彰」、「教育研究アドバイザー制度」を新たに導入し施行しています。

平成27年3月に『理工系人材育成戦略』が文科省から発布されて以来、『国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて』、『国立大学経営力戦略』など、国家の基本方針として工学分野におけるイノベーション創出が強く期待されています。一方、平成29年6月の『大学における工学系教育の在り方に関する検討委員会』答申で示されたように、これまでの各大学工学部における、一つの専門分野を深く掘り下げ修得させる教育方針を抜本的に見直すことが、産業界などから強く求められている状況です。

鹿児島大学工学部が今後も存続していくためには、少子高齢化、第4次産業革命による産業構造変化などに柔軟に対処できるよう、将来動向を踏まえた自己変革を継続的に行っていくことが不可欠です。このため、平成29年5月より「将来計画に基づく工学部の強み・特色顕在化」、「分野融合による学科・専攻間の縦割り構造解消」、「4+2年制度と6年一貫制度の併存による学年構成の柔軟化」を3本柱とする工学部改革を実施しています。後半の2項目は、中教審答申、工学部長会議における高等教育課・法人支援課の基調講演などで強調されてきたテーマであり、今後の高等教育政策を司る基本方針です。

「学科・専攻間の縦割り構造解消」に関しては、関連学科の統合改組で対処する他大学とは異なる独自の取組として、既存学科間の距離を縮めオーバーラップを作っていく方策を考案しました。学科の基盤である鹿児島工学部の基礎7分野（機械、電気電子、建築、化学工学、海洋土木、情報、化学生命）に沿って再構築し、分野融合による新たな強み・特色を明確化します。従来各学科の中のみで完結していた教育プログラムを抜本的に見直し、社会に出てからの就業力・問題解決能力を培う科目群、工学分野全体を総合的に把握する科目群、Society5.0で示された高度情報社会を生き抜くための人工知能、データサイエンスなどの科目群、自分の専門と異なる分野の基盤を修得する科目群などに再整備します。平成30年6月に、文部科学省にこの工学部改革の内容を説明し、合意を得ました。

平成32年には、工学部創立75周年を迎えます。武若耕司委員長を中心に、各学科から選出した委員が、工学部同窓会と連携しつつ様々な記念事業の企画検討を行っています。

工学部が今後も末永く活力を維持していくために更なるご支援を宜しくお願い致します。



工学部百年の計に向けて

（最終）その4

工学部長
渡邊

睦



鹿児島大学へ感謝

株式会社
安川電機ロボット事業部ロボット技術部
中田 達也

同窓会の皆様におかれましては、様々な分野でご活躍のことと存じます。この度は、卒業生から一筆を書くようにご依頼を頂きました。鹿児島大学を通して成長させて頂いたことへの感謝の気持ちを記す良い機会を頂いたと嬉しく思っております。

私は2013年に工学部情報生体システム工学科を、2015年に理工学研究科情報生体システム工学専攻を修了致しました。在学中には、渡邊睦教授、佐藤公則教授、鹿嶋雅之助教のご指導の元、「口唇の動き特徴を用いたリップシンク個人認証システム」というテーマで研究に取り組みました。研究の過程においては苦勞した記憶も多々ございますが、特許出願や国際学会での発表、査読付き論文の投稿等の大変貴重な経験を積むことができました。これらの経験は現在の私の糧になっていると日々感じております。有り難うございました。

卒業後は株式会社安川電機へ入社し、現在、ロボット事業部に属しています。一般消費者の方々が産業用ロボットを目にする機会は少ないと思われませんが、産業用ロボットは、溶接や塗装、マテリアルハンドリングといった用途を主として、3K職場（きつい・危険・汚い）と呼ばれるような製品の製造現場で数多く使用されています。私の現在の仕事内容は、産業用ロボットへ付加するアプリケーションを開発・設計する業務です。産業用ロボットは単体ではロボットアームであり、お客様がご要望する仕事を遂行するためのアプリケーションをロボットへ付加する必要があります。お客様へアプリケーションの仕様をヒアリングし、製品の開発・設計を行い、生産ラインへ導入するというような一連の流れで仕事を進めています。産業用ロボットは、メカ設計技術、電気回路設計技術、ソフト設計技術といった各種技術が複合して完成する製品であり、幅広い知識が問われます。私自身、幅広い知識を網羅しきれていませんが、在学中に学んだプログラミング技術、各種モジュールとの通信技術、電気回路技術等は確実に現在の仕事内容に活かしていると日々感じています。まだまだ自身の未熟さを痛感する場面は多々ありますが、自身を研鑽しながら、今後も励んで参りたいと思います。

去年より当社のリクルータとして鹿児島大学の学生様を担当させて頂いています。現在は就職活動の支援という形ですが、後輩のためにできることがあれば、微力ながら今後も取り組んで参りたいと思います。

最後になりますが、同窓生皆様方の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

各学科・専攻の状況

機械工学科

学科長 片野田 洋

機械工学科と大学院機械工学専攻の近況について、ご報告いたします。現在の機械工学科の学生在籍数は、平成30年11月1日現在で、学部1年生105名、2年生102名、3年生104名、4年生103名の合計414名です（内留学生7名、女子学生24名）。大学院機械工学専攻の学生在籍数は、博士前期課程が105名で、博士後期課程が2名となっています。

現在の教員数は24名（教授10名、准教授8名、助教6名）です。コース別では、生産工学コースが7名、エネルギー工学コースが7名、機械システムコースが10名となっています。

教員の学内活動としては、木下英二教授が副学部長として活躍されています。研究活動としては、小金丸正明准教授、池田徹教授がエレクトロニクス実装学会MES2018において、MES2017ベストペーパー賞を受賞しました。また、片野田が設立した鹿児島ハイブリッドロケット研究会が、3月末に肝付町で小型ロケットを打上げる予定です。競争的研究資金獲得状況は、科学研究費補助金の新規採用が2件、その他が13件でした（4月～11月）。

学生の動向としては、熊澤研究室の学生チーム「ち〜くま」がETロボコン2018九州南地区大会においてデベロッパー部門アドバンストクラスのモデル審査でGold Model（1位）を獲得しました。就職状況も好景気に支えられて、100%の就職率を達成できる見込みです。

また、昨年8月から機械工学科2号棟の改修工事が行われており、本年4月に完了予定です。これで、1号棟、2号棟ともに改修工事が完了します。学生も新たな気持ちで勉学と研究に取り組むことができると期待しています。

機械工学科の今後の発展のためには、同窓会会員の皆様のお力添えが不可欠です。今後もしもご支援を賜りますようお願い申し上げます。

電気電子工学科

学科長 寺田 教男

平成27年度4月から教員は学術研究員理工学域工学系に所属し、大学院理工学研究科電気電子工学専攻と工学部電気電子工学科の教育を主担当しています。平成30年4月における教員数は22人であり、同月に堀江雄二先生が教授に昇任されたことで、その内訳は教授8人、准教授8人、助教6人となっています。昨今の人事動向として、30年3月に満吉修二技術職員が辞職されましたこと、12月1日付けで青野祐美教授が防衛大学校から工学系で初の女性教授として着任予定となっておりますことを報告いたします。

さて、当学科はJABEEに積極的に取り組み、平成28年度には継続認定を受け、外部機関から認証された質の高い工学教育を継続しています。その活動のひとつに、平成27年度に開始しました「カリキュラムに関する外部連携会議」があります。この会議は外部の方から学科の学習・教育到達目標、カリキュラム、新しい取り組みについて意見を伺う場であり、平成30年度も「きばっど会」の日に実施し、同会で講演いただいた（株）ダイヘン 参与 品質・環境部長の白濱和人氏をはじめとする複数の同窓生の皆様にご出席いただき、教育への御要望、教育改革の成果の評価等に関する御意見をいただきました。

また、就職状況についても100%の就職率を引き続き維持しております。これも同窓会の方がたの御活躍・御支援の賜物と深く感謝いたしております。加えまして、同窓会の方がたには、学生への教育研究支援事業である「新入生ウェルカムパーティー」、「きばっど会」、学生実験機材の充実など多岐にわたり多大なるご支援をいただいております。重ねて御礼申し上げます。今後も社会に貢献できる人材を輩出すべく、教職員一丸となって努力してまいりますので、皆様には今後とも御支援、御協力、厳しい御意見をよろしくお願い申し上げます。

建築学科

学科長 木方 十根

平成30年10月に、横須賀准教授（建築構造力学）が准教授に昇任されました。今年度の建築学科は、教授6名、准教授5名、助教3名の計14名体制で運営しております。横須賀先生は、平成25年9月から5年間、本学科の助教として、教育・研究さらには構造デザインコンペティションの受賞など、活躍されてきましたが、これからは准教授として研究室を運営し、さらなるご活躍が期待されます。一方で横須賀先生の後任の一日も早い着任が待たれるところです。現時点では1名欠員ですが、学科の先生方は引き続き、教育・研究はもとより、地域貢献、国際交流にいたるまで、幅広くご活躍されています。

近年、全国の国立大学工学部の改組が進んでいます。鹿児島大学工学部でも例に漏れず、目下改組計画の検討が進行中です。内容はまだ未確定ですので、ここで詳らかにする段階にはありませんが、本年度に入り、建築学科を含む工学部の全学科で、休む間もなく学科の諸ポリシーや具体的なカリキュラムの検討などを進めなければならない状況が続いています。そうしたなかでも教育・研究を疎かにすることはできません。困難な状況を乗り切るために、ますます学科教員間の協力や信頼関係が必要とされています。幸い建築学科では、毎週の学科会議に教員一同が会し、若手教員の意見も尊重しながら物事を決めていく、とても良い雰囲気が保たれています。今後大学を襲う大きな変化の波を乗り越えていくに

は、次世代を担う若手教員の主体性がとても重要になります。目下の改革論議は第四次産業革命やSociety 5.0 といった工学を巡る社会的ニーズの変化への対応に焦点が当てられがちですが、当事者たる若手教員が毎日楽しく働くことができ、将来に希望が持てる大学像を探ることを忘れてはいけないと感じています。

環境化学プロセス工学科

学科長 吉田 昌弘

環境化学プロセス工学科は、現在、学部学生35名（入学定員）を専任教員10名（教授4名、准教授3名、助教3名）で小人数教育を行っております。また研究については、以下の4つの研究グループ体制を維持し、推進しております。教員の動向としては、H30年度で平田好洋教授がご退職されます。長年、当学科の教育研究にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

研究グループ体制

環境化学プロセス研究グループ（旧輸送現象講座, 旧単位操作講座）

二井 晋 教授、水田 敬 助教、五島 崇 助教

環境バイオテクノロジー・先端複合材料プロセッシング研究グループ（旧工業物理化学講座）

吉田 昌弘 教授、武井 孝行准教授

環境反応工学研究グループ（旧反応工学講座）

甲斐 敬美 教授、中里 勉 准教授

機能性セラミック材料研究グループ（旧無機材料化学講座）

平田 好洋 教授、鮫島 宗一郎 准教授、下之蘭 太郎 助教

本学科は、教育の成果を判断するためには、学生自身が資格試験を受け取得できる教育システムを新たに導入する方が定量評価できると判断しました。そこで、公益社団法人化学工学会が行っている資格制度である「化学工学技士（基礎）」の資格を取得できるような教育プログラムの編成を導入しております。H30年度は9月末に当該資格試験を実施し、46名が受験をしました。学生全員が本資格を取得し、卒業させることを目標に教員一同頑張っております。

小人数学科であるために学生に対して丁寧な指導ができますが、教員の研究に費やす時間は厳しい状況にあります。その限られた時間の中でも数多くの国内外の学会発表、学術雑誌への発表、外部資金の獲得に務めております。今年は、各教員の指導の下、院生のポ

スター発表や学生賞など全国レベルの学会発表で8件が表彰を受けました。教員の間だった成果としては、甲斐 敬美 教授の論文が公益社団法人化学工学会の優秀論文賞に選ばれました。

化学工学を学んだ学生に対する企業の求人倍率は、4倍以上を維持しており、好景気や不況の波に影響することなく多い状況です。これも卒業生の皆様が各企業であげられた実績によるものであると感謝しております。南九州の地域産業や全国の企業とも連携した研究を介して、今後も化学産業の発展のため貢献していきたいと思います。日本の将来を担う若者を十分に教育して社会に送り出していきますので、卒業生の皆様にはこれまで同様にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

海洋土木工学科

学科長 安達 貴浩

海洋土木工学科の近況についてご報告いたします。海岸工学や地域防災を専門とされ、また多くの人材を育成された浅野敏之教授が平成30年3月末日をもってご退職されました。同年6月9日には、多くの卒業生および関係者が集まり、退職記念講演会ならびに祝賀会が盛大に催されました。浅野先生は、現在、鹿児島大学・地震火山地域防災センターの特任教授として、引き続き、地域防災のための各種取組みにおいてご活躍されています。

平成30年4月2日には、大阪大学・大学院・工学研究科・地球総合工学専攻より、伊藤真一先生が助教として着任されました。伊藤先生は地盤工学を専門とし、粒子フィルターを用いたデータ同化等の先端的な数理統計学の手法を用いて、土砂災害の発生予測に取り組んでおられます。20代の伊藤先生には、熱意とパワーをもって、学科の発展や鹿児島県で深刻となっている土砂災害問題の解決に貢献していただけるものと確信しています。

平成30年6月には、海洋土木工学科棟の改修が完了しました。改修後、建物がきれいになっただけでなく、これまでになかったアクティブ・ラーニング室や化学分析室（2部屋）が設けられ、時代の変化に対応した教育・研究が実施可能となる施設が整備されました。コミュニケーションスペースとして、1階玄関にカウンター等を新たに設けていますので、卒業生の方々も、お気軽にお立ち寄りいただき、同スペースをご活用いただければと思います。

大学を取り巻く環境が大きく変わる中であって、これまでと同様に、有能な土木技術者と価値ある研究成果を輩出していく所存ですので、卒業生の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

情報生体システム工学科

学科長 王 銅

情報生体システム工学科は、学部定員が80名、博士前期課程の定員が42名の大きな学科・専攻です。本学科は、「情報」と「生体」をキーワードとした教育と研究を行っています。現在の教員構成は、教授として内山、大塚、佐藤、辻村、吉田、渡邊、王、准教授として大橋、小野、加藤、渕田、吉本、朱、助教として岡村、鹿嶋、三嶋、福元、山下の計18名です。現在来年度当初には新しい准教授を迎えられるよう公募をしています。情報生体システム工学科では、将来の高度情報化社会を支える基盤技術である情報通信関連技術において、人と環境に優しい社会の実現のため、人との親和性の高いコンピュータ技術の修得、および人間の認知過程や生体システムの本質も理解した情報生体システム技術者の育成と、そのための研究活動の実践を目標としています。

本学科は、情報システム工学、脳認知工学、生体計測工学の3つの教育分野から構成され、コンピュータやネットワークなどの情報システム工学や情報生体工学に関する総合的な教育を行っています。また、マルチメディア、インターネット、量子コンピュータ、画像処理、生体情報処理を含む幅広い領域で、新規な情報技術に関する基盤研究と応用研究を進めています。専攻では、教育目的をより具体的に実践するために、協創情報学、認知生体情報学の2分野にまたがる情報生体システム工学の基礎を広く理解した上で、1つ以上の分野に秀でた学生を育てるためのコースワークを設けています。

卒業生は、エレクトロニクス産業や情報産業、また、医用電子機器メーカーなどの生体関連産業といった分野だけにとどまらず、官公庁を含む幅広い分野で活躍しており、大学院進学者も多数います。学生の就職状況はおかげさまで好調で、就職率はほぼ100%が達成されています。これも、同窓会の皆様の日頃のご努力の賜物であり、感謝いたしております。これからも益々のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

化学生命工学科

学科長 橋本 雅仁

化学生命工学科は、応用化学工学科と生体工学科を再編して2009年に誕生し、2018年で10年目を迎えました。本年は、10月に石川岳志教授が長崎大学から新たに着任されました。石川先生の専門は生命計算化学で、タンパク質とリガンドの分子シミュレーション、量子化学計算、化学反応シミュレーションなどを駆使し、生命科学に関する諸問題を計算化学に基づいて研究・解決することをめざすものです。これまでの当学科にはない先駆的分野で活躍されてきており、今後の化学生命工学科を担う人材として活躍されること期待して

います。10月現在の当学科の体制は、教授5名（石川、門川、隅田、橋本、肥後）、准教授6名（上田、金子、高梨、中島、山元、吉留）、助教4名（新地、橋口、満塩、若尾）の合計15名になっています。

本年度は、学部学生216名、大学院生57名が在籍しており、教員団による教育・研究指導が実施されております。その結果、国内外の学会や学術雑誌に数多くの成果を発表、各種の賞を受賞することができ、2017年度研究科長賞として4名、2018年度前期研究科長賞として4名が表彰されております。

昨年度に受審していたJABEE審査は、2018年3月6日に2022年度までの6年間認定の連絡を受け、無事継続することができました。今後も外部機関から認証された質の高い工学教育として、熱意を持って学生教育を継続していきます。また、工学部独自の教育評価システムであるエクセレントレクチャー賞は2年連続で金子先生が受賞されており、教育のさらなる改善にも力を入れております。

近年、大学の役割も変化してきており、工学部でも社会情勢の変化に対応した学部改革が議論されています。今後も変化に対応しつつ、この体制で教育・研究に尽くす所存です。同窓会の諸先輩がたにも本学科への変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。





在学生から

挑戦し続ける

電気電子工学科4年

佐藤 誠也

私は、これまでの人生の中で多くの挑戦をしてきました。中学の時には学年の代表として英語の弁論大会に出場したり、生徒会役員となり学校をより良くしていこうと行動していました。私はあまり、人の前に立って何かをしようと言ったことは得意ではありません。しかし自分のため、誰かのためになると思い続けるとそのことについて気にすることがなくなりました。多少苦手なことでも挑戦してみることで克服ができると実感できました。

大学に入学してからも挑戦することは続いています。高校までとは違い、より専門的なことを求められるようになりました。私は今、自然言語処理についての研究を行っています。自然言語処理とはコンピュータに人間の使っている言葉を処理させる技術です。この技術は文書の自動分類や、機械翻訳やSiriといった対話システム等にも用いられています。しかしこの技術には様々な問題点があり、未だに解決されていないものも多くあります。その問題点についての解決策を私は考えなければならないので、一筋縄ではいかないと理解していますが、私は諦めるのではなく挑戦することを選択しました。仮に私の行った研究が上手く行かなかったとしても、その過程で培ったものは自分のためになり、結果は誰かのためになると考えたからです。この技術はグローバル化、情報化社会となっている現在の日本には欠かせないものとなっています。その技術の進歩のため、自分の研究が少しでも役に立つものになるよう日々新たなことに挑戦していきたいと考えています。

来年度からは、大学院に進学をします。大学院ではさらに今より求められる結果が重要とされる環境になっていくと思います。しかし私は今までと変わらず、新しいことへの挑戦を続けていきたいと思っています。



在学生から

大学生活を通して

理工学研究科 博士前期課程2年

機械工学専攻

小畑 啓介

18歳の時に鹿児島に来てもう7年目。ありきたりですが私にとってこの7年間は、長いようで短く、そして有意義な時間だったと思います。

車関係の仕事に就きたいという漠然とした目標を持ち機械工学科に進学した私は、勉強だけでなくサークル活動やアルバイトなどに追われながら淡々と毎日を過ごしていました。そんな生活の中でも多くの友人に恵まれ、沢山の思い出を作ることができたことを嬉しく思います。時に、学生の本分である学業を疎かにしてしまい、回り道をしたこともありました。あの時の情けなく、恥ずかしく、悔しい思いを私は一生忘れないと思います。

大学院進学を決めたのは学部3年の中頃でした。理由は大学を卒業した後に働いている自分を想像できなかった事と、院に進むことでより知識を深めるだけでなく、自分に自信を持てるようになりかったからです。院進学後は、国内外で老朽化の進む火力発電プラントで実際に使われている配管等が、あとどれだけ使えるのかを調べる「余寿命評価技術」についての研究をしています。原子力発電の稼働が少なくなっている今、日本は電力の大部分を火力発電に頼っています。しかし、火力発電所は数十年前から使われているものも多く、劣化や破損により重大な事故に繋がる危険性もあります。そこで、精度良く余寿命を評価する技術は今後必要不可欠です。この研究に携わり知識を深めていく中で、いまやっていることが遠からず人々の生活と結びついていることを感じ、それが自分のやりがいになりました。

研究室に配属されてからは研究に追われる忙しい毎日でしたが、悪いことばかりではありませんでした。学部4年時から学会に参加する機会が多く、国際シンポジウムでの発表も経験することができました。その内、JSPS耐熱金属材料第123委員会設立60周年記念国際シンポジウムではPoster Awardを、JSMS第55回高温強度シンポジウムではベストプレゼンテーション賞を受賞したことで、学生表彰を頂くことができました。この経験は今の私にとって大きな自信になっています。

この7年間で色々なことがありますが、いま思えばあの回り道も、自分を見つめなおすいい機会だったのかなと思います。来年度からは鉄鋼関係の職に就きます。一人の技術者として、より社会に貢献できるように鹿児島大学で培った経験を生かし、頑張っていきたいと思います。



在学生から

程よい距離感

理工学研究科 博士後期課程

総合理工学専攻

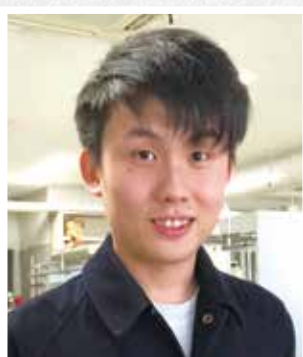
和田 大典

先日、父が70歳の古稀を迎え家族で祝賀会を開きました。久しぶりに会う父は少しやせて表情もどこか柔らかく、祝いの花束を渡したときに満面の笑みを浮かべる父の姿と見たときに感じた幸福感は自分を育ててくれた恩とこれからの家族の幸福を願うのに大変貴重な時間でした。

建築設計は様々な職種の人が関わって一つの建物を設計する職業です。その中で私の専門職である構造設計は地震や台風等の自然災害から建物を守る幹の部分の設計を担っている職業です。ただし、それは社会的な立場で見たときの一側面です。私たちの生活や人生を豊かにするものやそこで暮らす人たちの幸福感を、設計を通して与えることができるか、それが私の目指す構造設計者像であり、構造的な専門性は自身の個性を発揮する付加的なものでしかありません。

今年で3年目、社会人ドクターとして大学に戻ってくることは修士課程卒業の際に漠然と思っていたことでした。最終的に決断したのは、あるプロジェクトをきっかけに設計者としての多様性と、これから先、学術的な武器を持つことで自分の可能性を広げることの重要性を感じたからです。それは、先進的な技術を使って建築を築きあげていくことはもちろんのことですが、先に述べたような、形で表現できないもとを提供していくことに時間を費やすための、自分自身の能力の合理化を図るためでもあります。

父の古稀祝で感じた幸福感はまさに私の目指す設計の一在り方だったと思います。もうすぐ博士課程が修了しますが、仕事と研究の両立は続けていくつもりです。構造設計という一つのことに没頭する最中、仕事・研究に程よい距離感をもって日々の生活を見つめたときに、皆さんの心を満たすひとつの建築が生みだせるかもしれません。



留学生から

留学生としてできること

化学生命工学科4年

LEE LE HOOI

私がマレーシアから日本に留学してもうすぐ5年目を迎えます。当初は海外での暮らしを経験し、自分の視野を広げたいため、留学を決めました。留学先をアジアの大学かヨーロッパの大学にするかを迷いました。私は化学材料と物作りに興味があり、化学工学科を目指していました。留学先を調べた結果、ヨーロッパまで行かなくても、日本は高度な技術力と文化を持つ経済大国として世界中に有名であり、しかも、日本の国立大学の授業料は他の国より比較的安いことが知られています。そのため、高校時代で勉学に励み、鹿児島大学工学部化学生命工学科を受験し入学しました。

化学生命工学科では生物系や有機合成など幅広い専門知識が得られます。私は特に医療や生活日用品など多岐の分野において利用されている高分子化学に興味を持ち、高分子化学材料を扱う研究室を希望しました。

学部4年生で研究室に配属され、高分子化学や有機化学などに関わる研究を行い、新規な高分子材料の開発についての研究が始まりました。しかし、本格的に研究を進め、実験を行っても、実験結果は思い通りには進まないことを痛感しました。そこで、先生や先輩方からの指導を受けながら、自分で研究内容を詳しく考え、諦めない気持ちを持ち続けて研究に挑むことが重要だと知りました。また、来年度からは、さらに化学工学の知識を深め、自分の研究を発展させたいので、大学院に進学します。大学院修了まで自分の研究生活に全力を尽くしたいと思います。

最後に、私は一人の留学生として、将来は日本だけでなく母国に帰国しても日本で学んだ技術や知識を活かし、社会貢献ができるような人材を目指したいと思います。そのためには、日本人だけでなく、他の国の方々と交流し、日常会話から研究話題までを語ることができれば、自分の視野は広がるのではないかと思います。視野が広がれば、自分自身の考え方も変わるので、工学で必要とされる発想力を得て、新規材料の開発へと繋がり、私も社会に貢献できればいいなと思います。

工学部体育祭

平成30年11月24日 鹿児島大学第2体育館 130名

今年の工学部体育祭ではバスケットボールを行った。様々な学部、学科、学年の学生が参加し楽しく競技を行った。

(機械工学科 川畑 遼太郎)



<採用>

(機 械)	佐藤 紘一	教授	平成30年 4月 1日付	機械工学専攻准教授
(電気電子)	堀江 雄二	教授	平成30年 4月 1日付	電気電子工学専攻准教授
(情報生体システム)	辻村 誠一	教授	平成30年 4月 1日付	情報生体システム工学専攻准教授
(情報生体システム)	朱 碧蘭	准教授	平成30年 4月 1日付	東京農工大学大学院工学院助教
(海洋土木)	伊藤 真一	助教	平成30年 4月 1日付	大阪大学大学院博士後期課程学生
(化学生命)	石川 岳志	教授	平成30年10月 1日付	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科特任
(電気電子)	青野 祐美	教授	平成30年12月 1日付	防衛大学校電気情報学群機能材料工学科

<定年退職>

(海洋土木)	浅野 敏之	教授	平成30年 3月31日付	平成 2年 1月 1日から平成30年 3月31日
(情報生体システム)	水野 和生	准教授	平成30年 3月31日付	昭和63年 4月 1日から平成30年 3月31日

<配置換・他部署へ移動>

(情報生体システム)	塗木 淳夫	准教授	平成30年 4月 1日付	総合科学域総合教育学系
(情報生体システム)	大野 裕史	助教	平成30年 4月 1日付	総合科学域総合教育学系



機友会

機友会本部の活動状況

機友会総会は、平成30年11月17日（土）温泉ホテル中原別荘にて、広田道信関東支部長代理（S40卒）、斎藤和幸中京支部長（S47卒）、篠崎信一郎関西支部長（S44卒）、池田篤福岡支部長（S43卒）の来賓のもと、参加者41名で、福原稔庶務幹事の司会進行により開催された。総会では、初めに高崎征忠会長（S39卒）の挨拶、議長の選出、田淵大介会計幹事による会計報告、吉満正美監事による監査報告などが行われ、これらが承認された。また、平成29年度岸園賞受賞者である福井泰好先生をお招きし、授賞式及び受賞者による講演が行われた。



平成30年11月17日（土） 本部総会写真 その1



平成30年11月17日（土） 本部総会写真 その2

懇親会は、佐藤紘一編集副幹事が司会進行し、高崎征忠会長の挨拶により開催された。来賓の片野田洋機械工学専攻長から来賓挨拶、黒木英雄氏（S40卒）による乾杯を行い、杯が酌み交わされた。その後、恩師の福井泰好先生、浜崎和則先生（S39卒）、皮籠石紀雄先生（S45卒）、池田篤福岡支部長、篠崎信一郎関西支部長、斎藤和幸中京支部長、広田道信関東支部長代理による挨拶が行われた。宴会の最後には、高木辰也氏（H24卒）による万歳三唱で盛況のうちに閉宴した。

平成30年度 機友会各支部の活動を以下のとおり報告します。

福岡支部の活動状況

機友会福岡支部では、平成30年度総会を平成30年11月10日（土）、西鉄イン福岡13Fの「ブロッソ」において開催しました。当日は来賓2名（大学：定松直先生、恩師：浜崎和則先生）と会員15名の計17名の出席者で、実施しました。総会では議案として会計報告（決算報告・監査報告・予算案）が提案され、原案通りに可決していただきました。今年は役員改選時期ではなかったので別表のとおり現役員継続の報告がされました。その後、懇親会に移り、浜崎先生の乾杯の音頭と近況報告、会員の近況報告へと続けました。浜崎先生は喜寿を迎えられ網膜はく離の手術をされた以外は健康上特に支障はなく、機友会の役員をはじめ、自治体や護国神社のお世話等を精力的に活動されているそうです。また、定松先生からは、大学の現状に関する報告がありました。



平成30年11月10日（土）
福岡支部総会池田支部長挨拶写真



平成30年11月10日（土）福岡支部総会集合写真

会員の近況報告では、最近の健康状態、奥様・親御様の介護、孫のお世話、退職後の趣味・再就職、旅行の話など多種多様な話で大変盛り上がり、二次会（焼酎のお店）にも約2／3の10名（途中、電車の都合で3名離脱）が参加しました。

支部総会は毎年11月の第1土曜日開催を基本としており、来年度は2019年11月2日（土）、今年度同様「ブロッソ」で行なう計画です。正式な案内は機友会ホームページでも行ないます。福岡支部の課題は、若手・新規の出席者を増やすことなので、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、その旨お伝えいただくと幸いです。

次に、不定期ですが「支部交流会」と称し、総会以外の会員交流の場を開いています。今年度も既に3回開催し、良い情報交換の場になっています。

さらに、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部（通称：福岡北辰斜の会）にも参加しており、12月1日には本学就職支援セミナー「きばいやんせ、鹿大生2018！」に「福岡北辰斜の会」が協力し、機友会からは池田支部長が先輩スピーカーとして、経験談を話していただきました。

【支 部 長】	池田 篤（S51卒）	【会計幹事】	田中 宣秀（S58卒）
【副支部長】	後藤 康史（S52卒）	【会計監査】	後藤 康史（S52卒）
【幹 事】	柳 和宏（S57卒）		

関西支部の活動状況

「関西支部」の総会は平成30年7月7日（土）大阪市内の「大阪マルビル大阪第一ホテル」にて、大雨警報が発令され交通機関も混乱する中、井手先生、田淵先生のご出席を賜り、39名で開催しました。井手先生からも「関西の結束力はすごいな」と賞賛？頂きましたが、開催も危ぶまれる大変な気象条件の中、ご臨席頂きました先生方、ご出席頂きました会員の皆様に心から感謝いたします。



平成30年7月7日（土）関西支部総会写真

総会は向井原代表幹事（H 9 卒）の開会の辞で始まり、篠崎支部長（S 44卒）の挨拶、そしてご来賓の二人の先生に鹿児島大学の近況のお話を含めたご挨拶を頂きました。講演として初めて関西支部以外の方にお越し、元海上自衛隊海将 蔵迫兼志氏（S 56院卒）に『海上自衛隊勤務を振り返って』と題して講演して頂きました。

続いて懇親会では、川上満州夫氏（S 30卒）の乾杯でスタートし、各テーブルで焼酎を酌み交わしながら先輩や同輩そして後輩との懇親を深めました。その後、初参加メンバーの紹介とスピーチ、来年度の幹事紹介と挨拶、そして応援歌である七校寮歌の「北辰斜めに」を唱和し、下茂 忍氏（S 34卒）の万歳三唱で盛況の内に閉演しました。

最後に出席者全員の写真撮影を行い、来年度の再会を誓い、解散いたしました。

来年度は平成31年7月6日（土）に開催の予定です。

中京支部の活動状況

「中京支部」の総会を平成30年7月13日（金）に愛知県知立市の「ホテルクラウンパレス 知立」にて開催しました。機友会本部から皮籠石先生、定松先生のご来賓を仰ぎ、静岡、三重等の遠方からの出席や本年度入社の若手会員の出席もあり、総勢64名で開催しました。総会は本年度幹事会社の株式会社デンソーの司会進行のもと、支部長の斎藤和幸氏（S 47卒）の挨拶に始まり、会計報告及び承認に続き、御来賓の先生方より鹿児島大学近況のご報告をいただき、郷原智 氏（S 59卒）の発声による乾杯ののち歓談となりました。1年ぶりに交わす挨拶や近況の話題等にて親睦を深めたのち各会社ごとに近況が報告され大いに親睦を深めることができました。最後は「北辰斜めに」を合唱し、副支部長の青木幸久氏（S 49卒）による万歳三唱で盛況のうちに閉会しました。

中京支部では引き続き幹事会を定期的に開催し、中京支部の活性化、遠方からの会員や若手会員が参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。来年度は平成31年7月12日（金）に開催予定です。



平成30年7月13日（金）中京支部同窓会写真 その1



平成30年7月13日（金）中京支部同窓会写真 その2

関東支部の活動状況

平成30年10月20日（土）に関東支部総会を開催しました。39名の会員の参加がありました。来賓として、鹿児島大学連合同窓会関東支部会長今村彬様、福原先生、浜崎先生のご臨席もいただきました。両先生には研究室卒業生へのお声かけを頂き、平成卒業生にも参加いただき盛会裏に開催できました。

近年の参加者減少に関し、これからの対応をご討議いただき、役員一同意見を参考に今後の活動を進めていきたいと考えております。総会に引き続き懇親会でも若い方々の現状、支部活動への要望等を伺いつつ、世代を超えての懇談に花が咲きました。最後は北辰斜めを斉唱し、次回での再会を期しました。



平成30年10月20日（土） 関東支部総会写真

錦水会



鹿児島支部総会

◇鹿児島支部◇

錦水会鹿児島支部総会報告

鹿児島副支部長 池田 浩二

錦水会鹿児島支部の総会は、平成30年10月27日（土）に例年どおり鹿児島市天文館の「ホテルパレスイン鹿児島」で開かれました。

総会では鹿児島支部吉留支部長から、「今年は国の規制等に適合しない製品を製造出荷するなどの問題が、大手企業1社のみならず多数噴出した社会情勢であった。錦水会としては若返りが必要で、現状幹部候補者を1名確保しているところであるが、さらに積極的に若手の取り込みをしていきたい」と挨拶がありました。

総会では、出席者全員で亡師亡友への黙祷を捧げ、続いて議長に吉留支部長を選出して議事が進み、前年度の事業・会計報告、新年度の事業計画案・予算案が審議、承認されました。

今年度事業計画は、錦水会活動を活発にするため（1）地元企業の卒業生へのアプローチの他、（2）学内教員との連携のための交流、（3）旧南翔会会員との交流促進などの内容となっています。全出席者による記念写真撮影を挟んで、懇親会が開かれました。

懇親会は、在校生に対して新旧の先輩OBが講話をする「きばっど会」（当日午後開催された）の講師、（株）ダイヘン 品質・技術環境部長白濱 和人氏（電気昭和58年卒）とソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（株）CIS製品技術部 製品技術川邊 一郎氏（情報院平成16年卒）の2人も出席し、旧教官や現職教員、学生有志も参加して開かれました。

懇親会は、MBC南日本放送取締役小川重訓氏（電気昭54卒）の手慣れた巧みな司会で進められ、きばっど会講師と新任教員の挨拶それに現役学生の自己紹介等を交えながら、和やかな雰囲気の中で近況の交換や、歓談が大いに進み盛り上がりました。

最後に、昭和28年電気卒伊藤幸夫氏（元MBC）の挨拶、万歳三唱に続き、湊田先生の元気いっぱいの巻頭言に続いて、旧制7高寮歌「北辰斜に」と「記念祭歌」を全員で合唱し、散会となりました。



きばっど会（学生と全体写真）

◇関東支部◇

電気電子工学科の学生との交流会を開催（平成30年9月6日）

関東支部編集幹事 宮下 勉

電気電子3年の学生6名と引率の福島先生、渡邊先生が、工場見学のために上京されましたので恒例の交流会を開催し、支部からは5名のOBが出席しました。

今回、学生の数が少数ということもあり、同じテーブルを囲んで今後の夢、また先輩からのアドバイス等、密度の濃い交流ができました。

平成30年度 錦水会関東支部総会を開催（平成30年10月27日）

大橋先生と永山先生に出席いただき、支部からは19名が出席し開催しました。

先生方からは、学校の近況と研究テーマの一つ「変換電磁気学に基づく人工媒質メタマテリアル」について講演いただきました。今回、支部会長が萩原氏から田原氏にバトンタッチされ、今後、趣味を通じて会員同士の交流、また同期の輪をもっと広げることで、より多くの会員が参加する支部活動にしていこうとの気持ちを新たにしました。



電気電子工学科3年生との交流会
（平成30年9月6日）



出席者による集合写真
（平成30年10月27日、東京国際フォーラムにて）

◇関西支部◇

平成29年度 関西支部総会

関西支部長 白濱 和人

関西支部では、近年は、総会を3月に開催しており、大学からは例年2名の先生方に出席していただいております。

平成29年度は、平成30年3月17日（土）に大阪市の道頓堀ホテルにて、総会を開催、吉田 賢史先生（電気電子工学科）、大野 裕史先生（情報生体システム工学科）の2名の先生方をお迎えしました。

平成30年度は、平成31年3月16日（土） 道頓堀ホテルにて開催の予定です。



◇東海支部◇

～元気じゃったけ～

東海支部長 永野 博

11月23日、総勢21名、大学より渡辺先生、S23第一回卒業生の宗方さん、また遠方の東京、佐賀、静岡よりの出席、ピカピカの今年社会人となった佐竹さん、根比さんと多彩な顔ぶれの中、東海支部総会を持ちました。

先輩、後輩が焼酎を片手に、仕事、趣味、悩み事、将来の事等、話は尽きませんでした。

この9月、浜松にて、機友会（機械科の同窓会）と錦水会の合同同窓会を持ちました。

名古屋から遠い浜松地区は、スズキさんヤマハさんに代表される製造業エリアであり、沢山の鹿大卒業生が生活していっていますので、近場での開催をやってみようとの試みでした。

今後、この会は、学科、学部を超えた鹿児島大学同窓会へ広げていこうとの方向です。

～元気でな～



◇福岡支部◇

平成30年度 錦水会福岡支部総会

福岡支部長 権藤 正信

平成30年度錦水会福岡支部総会を11月24日天神テルラにおいて、情報生体システム工学の三嶋先生にご出席いただき、36名で開催しました。

総会は支部長挨拶、会員の近況報告、決算報告、予算案や役員の変更などの承認を実施しました。

その後、三嶋先生から大学の近況を紹介していただき、石原さん（S38年卒）の乾杯の音頭で懇親会を始め、途中で新卒（H30年卒）3名と初参加者の一言スピーチを受けましたが、来年も参加しますと頼もしい言葉も聞かれていました。

懇親会は、非常に盛り上がり、予定の2時間があっという間に過ぎたという感じでした。

閉会の前に「北辰斜に」を全員で歌い、最後は秋山さん（H30年院卒）の万歳三唱で閉会となりました。



◇熊本支部◇

第23回錦水会熊本支部総会報告

熊本支部長 小田 博昭

第23回錦水会熊本支部総会は、平成30年9月29日（土）ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにおいて、大学から電気電子工学科の甲斐祐一郎先生に出席いただきました。当日は、台風が近づいてきているという中での開催となり、1名の欠席はありましたが、総勢9名での開催となりました。

総会は、まず役員改選について審議し、高齢化してきている体制ですが引き続き現行体制で臨むことになりました。また、29年度の会計・監査報告及び30年度の予算と活動計画についても了承されました。

熊本支部としては、県内への就職者も例年少なくなるとともに総会への出席も期待出来ないのが現状であり、若い世代の取り込みが悩み深いものです。

一方、甲斐先生からは学内の近況報告をはじめ、研究テーマの「モータの開発」について報告をいただきました。

懇親会は、渋谷博司（S44電気卒）先輩の乾杯によりはじまり、初めて出席いた



平成30年9月29日（土）第23回錦水会熊本支部総会
於 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

だいた辻康（S49電気卒）氏の自己紹介をはじめ、出席者皆さんの近況報告をいただきました。高齢に伴う話が中心となりましたが、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

○新しい熊本支部体制

支部長 小田 博昭（47電子卒）

庶務幹事 福田 克己（47電子卒）

会計幹事 八丸 明（49電気卒）

編集幹事 福田 克己（兼務）

監査役 牛島 憲二（51電子卒）

◇宮崎支部◇

平成30年度 宮崎支部総会報告

宮崎支部長 本田 博

第35回宮崎支部総会は、宮崎神宮大祭の一週間前の例年通り、10月20日(土)に県庁近くの「和食の橘」にて、情報生体システム工学専攻の内山教授にご出席いただき、総勢17名で開催しました。

先生からは、電気電子・情報生体関連の現状報告がありました。その中で、最近退職された先生方の紹介があり、懐かしいお名前も聞くことが出来ました。また、会計報告が承認され、次回役員は引き続きとなりました。

懇親会では、出席者の近況報告等で時間のたつのも忘れ、大変楽しいひとときを過ごしました。最後に、本支部では合唱部OBが多く、恒例の「記念祭歌」、「巻頭言」、「北辰斜に」を大合唱でしめて、二次会へと移動となりました。



錦水会ホームページのご紹介

総会等の最新情報の確認、住所変更等の錦水会へのご連絡は、錦水会ホームページにアクセス下さい。

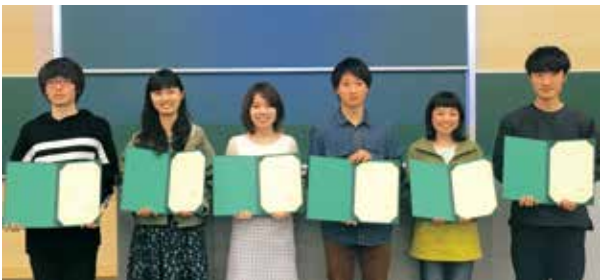
<http://kinsuikai.sakura.ne.jp/>



AOI 会

AOI会会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から同窓会活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さっそくですが、建築学科の近況と、AOI 会各支部の活動を、ご報告申し上げます。

建築学科	AOI 会
2018 年度入学式 新入生 58 名	04-04.06 第 11 回 AOI 会設計優秀賞授賞式
■入賞 第 3 回ウッドフレンズ住宅設計 「都市における小住宅」 中尾有希 (M1) 作品名「日影を楽しむ小さな家」	1 年生 今村萌絵 岩田有哉 2 年生 長田亮平 久保田未咲 3 年生 安長瑠人 佐藤由奈
■最優秀賞 建築学生ワークショップ伊勢 2018 M1 田村健太郎 (他 4 名) 作品名「届きそうで届かない」	
第 5 回学生・若手実務者のための 構造デザインコンペティション	受賞学生 岩田君 / 今村さん / 久保田さん / 長田君 / 佐藤さん / 安長君
■優秀賞 尾川航平 / 塩月智葉 / 坂元利枝 (M1) 作品名：しとらす	受賞者コメント 4 年 安長瑠人 設計への取り組みとして、特に意識しているのは視点の持ち方です。日々見慣れている空間に少し視点を変えることで誰も見たことのない空間が生まれると考えています。また、研究室に入り実学的な建築設計に取り組む機会が増え、建築に対する見え方が変化していると感じます。今回の受賞を誇りに思い、一層研鑽していきます。
■審査員 (松尾・山脇) 賞 一ノ瀬悠輔 (M1) 平松大知 (M1) 作品名：看板シェル	
横須賀先生が准教授に着任 (専門：構造力学)	-09.29 関西 AOI 会 総会 支部長：瀬山憲正 (S47)
	-10.06 第 17 回 建築ナビ「先輩と進路・就職を語る会」 峯元信明 (みねもとのぶあき) (H13) 株式会社ブンカ巧芸社 代表取締役社長 小園照弘 (こぞのてるひろ) (H3) 株式会社アール・アイ・エー 東京支社統括部長兼設計一部部長 原田公明 (はらだひろあき) (S60) 株式会社日建設計 エンジニアリング部門 構造設計グループ 技師長
	-11.17 関西 AOI 会 ゴルフ親睦会
	-12.01 北九州支部 AOI 会 総会 支部長：佐伯憲二 (S48)
優秀賞作品：「しとらす」 尾川 / 塩月 / 坂元	-02.09 鹿児島 AOI 会 総会・厄払い会 会 長：武田敏郎 (S42)
2018 年度卒業式・修了式 卒業生 52 人、修了生 29 人	-02.09 第 3 回 AOI 会建築賞 授賞式 平野公平 (H14) 平野公平建築設計事務所「娘良の家」 奥 貴人 (H9) ㈱安井建築設計事務所「にいむら病院」
	-02.22 関西 AOI 会 学外実習現場見学会・懇親会 名称：積和不動産関西(株) 設計・監理：㈱IAD 竹田設計 施工：㈱竹中工務店

■第18回建築ナビ「先輩と進路・就職を語る会」

最前線で活躍されている本学科の卒業生をお招きし、社会的経験、人生観等を、講演して頂くとともに、先輩との情報交換を目的として企画された本会も、今年で18回目となりました。

日時 | 2018年10月6日(土) 14:00~17:00

場所 | 鹿児島大学 稲盛会館

峯元信明 「“意思あれば道あり”

日本一の看板屋を目指します！」

平成13年卒 株式会社ブンカ巧芸社 代表取締役社長

小園照弘 「まちをつくるプロセス」

平成3年卒 株式会社アール・アイ・エー 東京支社統括部長兼設計一部部長

原田公明 「人生を振り返って」

昭和60年卒 (株)日建設計エンジニアリング部門構造設計グループ技師長



講師の先輩方 小園先輩 / 原田先輩 / 峯元先輩



講演会の様子

■第61回鹿児島大学建築展 「日常に隠し味」

多くのAOI会会員の皆様のご支援によりに受け継がれている「建築学科建築展」が今年も開催されました。協賛頂きました会員の皆様に心よりお礼を申し上げます。

日時：2018年11月3日（土）会場：名山町商店街

鹿児島大学第61回建築展実行委員長 脇田 康平

今年度の鹿児島大学建築展は「日常に隠し味」をテーマとして11月3日、鹿児島市名山町商店街にて開催いたしました。鹿児島大学建築学科の学生が訪れた人と会話し名山町の良さを伝えるだけでなく、実際に名山町を体験し利用してもらうことにより、名山町の貴重性・特異性に気づいてもらい、それらの場の空気感を建築が作り出していることを知ってもらうことを目的としました。

当日の名山町の様子としては、おはら祭と同日ということもあり、当初予想していた来場者数よりも多くの方に訪れていただきました。昼前から昼過ぎの時間帯が一番来場者が多く、夕方になると落ち着いていきました。来場者は小さい子供を連れた親子が多く、比較的若い夫婦やカップルも多く感じました。また、名山町に初めてきたという方も多く、多くの方に名山町を知ってもらうことができました。

第61回建築展を開催にあたって、名山町町内会の方々をはじめ、協賛いただいた企業の皆様など、多くの方々からお力添え頂きました。簡単になってしまいますがここに感謝の意を記します。至らないところも多く、迷惑をおかけしてしまいましたが今後とも鹿児島大学建築展は続いていきますので何卒よろしくお願い申し上げます。



建築展当日の様子

2018年度 AOI会各支部の活動報告

■鹿児島AOI会

報告 | 新留 洋平 (H25卒)

恒例の鹿児島AOI会総会・厄払い会が、平成31年2月9日(土)にジェイドガーデンパレスにて開催されました。今回は、総勢54名の方に参加して頂き、また、福岡から北九州支部長佐伯先輩(S48)、土田先生にもご参加頂き、各支部での近況をご報告頂きました。厄払い会では、出席者全員で厄年の方の厄を払いました。懇親会では、終始和やかな雰囲気の中で大学の先生方をはじめ、各分野でご活躍されている先輩・後輩の方々とお話しする機会を頂きとても良い一時を過ごさせて頂きました。今回は異なりましたが、次年度以降鹿児島AOI会は、毎年2月の第1土曜日に開催されます。このような素晴らしい機会を、次代に引き継いでいけるよう、多数の皆様のご参加をお願い致します。



平成31年2月9日(土) 鹿児島AOI会集合写真

■宮崎AOI会

報告 | 星川 竜二 (H27卒)

平成30年7月27日(金)に宮崎市にて、宮崎AOI会懇親会が開催されました。今回は例年と開催場所が異なりましたが、19名が当会に参加していただきました。例年行われている会員全員による個々の近況報告では、各自の仕事や家庭の状況などほほえましい報告や笑いを誘う報告などがありました。参加した会員は全員元気で、宮崎AOI会に参加するのが楽しみだという声を聞くと、幹事としてはとても嬉しい気持ちになります。去年宮崎AOI会の銀行口座を作り、今年は日程等を調整したうえで大学の先生をお招きする計画もありましたが、諸事情によりうまくいきませんでした。来年度は大学から先生をお招きできるよう、事前に準備等調整し、宮崎AOI会に新たな刺激を頂ければと思っています。



平成30年7月27日(金) 宮崎AOI会懇親会の様子



2018年9月29日(土)

関西AOI会総会

報告 | 平柳 伸樹 (H28卒)

今年の総会は開催日前後に大阪に台風が直撃する予報もあり、開催が危ぶまれましたが、母校から横須賀先生にもお越し頂き、例年通り9月の第4土曜日に開催されました。関西AOI会は多世代交流の場となっており、会員の皆様方が近況報告を発表するのが恒例行事となっております。



イラスト作成：平柳

昭和43年卒の福田章さんは、定年後から機械式継手の一種である「アドバンスト鉄筋継手」に関する研究を進められております。所定の締結長さを確保することが重要である機械式継手において、確認孔の具備により締結長さの目視を可能にした点と、一般に欠陥品として見做される『山の欠けたねじ』をFEM解析と実験により検証し、機能上の問題がないことを実証した点が認められ、その技術の特許が成立しました。今後は認可を取得し、製品化・海外展開も視野に研究開発を進められる予定です。今後の発展に向けて、AOI会をはじめ、工学部OB皆様方のご協力をお願い致したいところです。

福田章 (S43卒) 氏が開発したアドバンスト鉄筋継手



平成30年9月29日(土) 関西AOI会集合写真

■北九州AOI会

報告 | 松藤 博昭 (H2卒)

平成30年12月1日(土)に、福岡市中央区天神におきまして、平成30年度AOI会北九州支部総会・懇親会が行われました。母校からは、塩屋先生がお越しくださり、土田先生と、黒木先生にもご参加頂きました。

AOI会北九州支部は、毎年12月の第1土曜日に総会と懇親会を行っております。今回は、特別ゲストとして、故三島先生の御家族をお招きし、上記先生方を含め72名の参加となりました。久しぶりに、70名を超える方にご参加を頂き、大いに盛り上がった会となりました。

会では、故三島先生の御家族から、鹿児島大学にて教鞭を取られていたころの思い出や、建築に纏わるエピソード等、ご紹介を頂き、また、塩屋先生からは、大学の近況や、卒業生の進路についてご報告を頂きました。

最後は、例年通り、皆で円陣を組んで「北進斜めに」を、続いて、三島先生が愛された「焼酎の歌」を合唱しました。限られた時間でしたが、世代を超えた諸先輩方と楽しく、そして有意義なお話を交えることが出来ました。これからも、この貴重な機会を次の世代へ繋げて行ければと思います。

故三島先生のご家族の皆様



平成30年12月1日(土) 北九州AOI会集合写真

南窓舎密会

第26回南窓舎密会総会は、平成30年10月20日（土）ジェイドガーデンパレスにて開催されました。染川賢一会長のあいさつに続いて、関東支部支部長 徳永正勝様（S59）、東海支部支部長 種子田實郎様（S41）、関西支部支部長 福里隆一様（S46）、北部九州支部支部長 黒田真也様（S41）より、各支部状況が報告されました。議事に入り平成29年度の一般報告、会計報告および監査報告が行われ、平成30年度予算案が承認されました。一般報告の中で特に、鹿児島大学工学部75周年事業について進捗状況が報告され、協力の依頼がありました。また、総会の運営方法について議論され、2019年度の講演会・総会・懇親会の実施法および交流促進のための新企画として、以下が認められました。



第26回 南窓舎密会 総会・懇親会 平成30年10月20日 於：ジェイドガーデンパレス

【2019年度の講演会・総会・懇親会の実施法】

- ・講演会：休止
 - ・総会：案内をHP上および役員へのメールのみで行う。実施法は従来通り。
 - ・日時・場所：案）秋の学科ソフトボール大会終了後等。ジェイドガーデンパレス等。
 - ・懇親会：案内はHP上および役員へのメールのみで行う。
日時・場所：案）総会后。ジェイドガーデンパレス等。
- ※ソフトボールの全体世話役4名および研究室世話役は無料。

【交流促進のための新企画（2018年度から試験的に実施）】

- ・参加名簿に現職・元職、趣味・興味等の欄を設け、交流促進を図る。
- ・「南窓舎密会功労賞」の設立
学科ソフトボール大会の全体世話役4名に「南窓舎密会功労賞」を授与する。

・「映像で楽しむ同窓会」企画

懇親会等で懐かしい映像や、同窓生の活躍の様子、趣味の紹介、支部の総会・懇親会 の様子、学科ソフトボールの模様などをプロジェクタで投影し、話題の提供を図る。

その他、案内に生涯メールを利用する案、“つかさ会”等に同期して実施することで集客効果上げる案、講演会前に研究室や会社との交流を行う案、などが継続審議されることとなりました。

総会終了後は同会場において懇親会が賑やかに開催されました。恩師である鎌田薩男先生、前田滋先生、幡手泰雄先生、下茂徹朗先生をはじめ、昭和37年度から平成25年度卒業・修了と幅広い年代の同窓生の方々にご出席いただき、また、各研究室より現役学生も多数参加し世代を越えた交流で盛り上がっておりました。今回は、総会での決定を受け、趣味等を記載した参加者名簿の配布、大学の昔の様子などが記録された写真等で構成されたスライドショーが試験的に実施、当時を懐かしむ声が多数聞かれるなど成功裏に進み、盛会のままお開きとなりました。2019年度の総会の案内は、南窓舎密会ホームページおよび役員へのメールでの案内となります。

総会に先立ち開催された講演会（鹿児島大学工学部内稲盛会館にて開催）では、武田薬品工業株式会社の遠藤勇氏、東ソー株式会社の宮田寛氏を講師に招き下記のタイトルでご講演いただきました。



懇親会の様子



「製薬業界における化学・化学工学専攻の必要性 ～グローバル化が進む企業の中で感じる～」

遠藤 勇 氏

(平成19年 応化工修了、武田薬品工業株式会社)



「新規事業創出への挑戦

～ 失敗から学んだこと ～」

宮田 寛 氏

(平成元年 応化院修了、東ソー株式会社)

教員組織

平成30年10月に石川岳志教授が着任されました。また、平成31年3月をもちまして平田好洋教授が定年退職されます。平成31年2月に最終講義および食事会が開催される予定です。



鹿児島大学での教育研究を振り返って

化学生命・化学工学専攻 平田 好洋

私は九大博士課程を経て、本学に定年までの38年間勤務させて頂きました。この間、皆様にはいろいろご教示を頂き有難うございました。私は応用化学、材料科学、化学工学を基礎として、先進セラミックス材料のプロセッシングと機能発現の研究を楽しく進めてきました。卒業論文を指導した学生は、約200名でした。彼らは電機、エネルギー、金属、セラミックス、半導体、プラントエンジニアリング、官公庁等の組織において、大いに活躍しています。本研究室での博士号取得者は11名でした。これまでの仕事は、論文353報、著書11冊、解説・報告書・資料90編、特許12件に紹介しました。これらの研究に要した外部資金は総額2億5千万円で、論文1報あたり70万円くらいとなります。

一方、これまでの仕事に対して、会員1万名を超す米国セラミックス学会から、その年の45歳以下の日米の公的研究機関のセラミック研究者それぞれ1名と企業の研究者それぞれ2名に送られるフルラス賞を1998年に受賞し、Ohio州Cincinnatiでの受賞式に臨みました。その前年に会員約5千名の日本セラミックス協会より学術賞を、2013年に会員1,400名の耐火物技術協会より若林論文賞を、そして、昨年6月に日本セラミックス協会フェローの称号を頂きました。研究室の成果は、大学院の講義に反映させてきました。本学以外にも、東工大、九工大、豊橋技科大、長崎大、名古屋大、広島大、九大で非常勤講師として講義をする機会に恵まれました。その他、学会等での招待講演数は121回で、学会等の国内外委員数は104件でした。

今日に至るまで学内外の教職員、学会関係者、及び家族に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。卒業生の御活躍と執筆した論文・特許が社会発展に寄与することを願っています。皆様方のご健康と鹿大の発展を祈念申し上げます。





新任教員挨拶

教授 石川 岳志

平成30年10月1日付で学術研究院理工学域工学系化学生命・化学工学専攻に教授として着任いたしました石川岳志と申します。私は北海道大学理学研究科化学専攻で学位を取得し、その後、立教大学の博士研究員、岐阜大学および東北大学の助教、長崎大学の准教授を経て、鹿児島大学に着任することとなりました。専門分野は計算化学で、主に生命科学分野、特にコンピュータを利用した医薬品設計や、そのための計算理論およびソフトウェアの開発などを行っております。従いまして、主宰する研究室の名称を「生命計算化学研究室」とさせて頂きました。近年の人工知能の著しい発展や量子コンピュータの登場を考えると、計算化学の分野は、今まさに大きな転換期を迎えようとしています。鹿児島大学では、これまでの経験や常識にとらわれず、常に新しい感覚を持ちながら、次世代の計算化学を切り開くような研究を進めていきたいと考えております。また、工学部の諸先生方と様々な共同研究を展開させて頂くことを、今からとても楽しみにしております。話は変わりますが、私は北海道稚内市の出身です。日本最北端の街で生まれ育った私が、東京、岐阜、長崎を経て、最後は九州最南端の鹿児島で研究室を主宰することになるとは、なんとも不思議な巡り合わせだと感じております。雄大な桜島のもとで、自身の研究に打ち込むと共に、将来を担う人材の育成に努めて参りたいと思っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

しらなみ会

「しらなみ会会長挨拶」

会長 萩 亮（昭和52年卒）

平成の時代が間もなく終わろうとしています。しらなみ会の皆さんもこの時代をどう生きてきたかそれぞれに感慨深いものがあるのではないのでしょうか。会員の多くが関わっている建設業界のこの30年間は、公共事業予算でみると、平成10年頃をピークに上昇し続けたものの、後半20年間は下降線をたどり結局昭和の終わりごろに戻ってしまったと言える30年間です。この間、会員の皆さんにもいろいろなことがあったのではと思います。現在は、オリンピックや国土強靱化政策などで予算的には幾分明るさが見えるこの頃ですが、新しい時代が皆様にとって希望の持てる時代となって欲しいと心から願う次第です。

さて、同窓会活動は一昨年4月にご承認いただいた事業計画に基づき進められてきました。改修がなされ見違えるような環境に変身した学科棟に、同窓会から交流スペース等の備品を寄付することが最も大きな事業でしたが、現在発注段階まで来ており、この同窓会誌が皆さんの手元に届くころには利用できる状態になっていると思います。ロビーや2Fベランダの椅子テーブルをはじめ、学科に立ち寄られた際は是非ご利用ください。

また、昨年11月には、第1回の「卒業生による講演会」を開催し、2期生の井上克己氏に「私の歩んで来た道と防災減災をめぐる最近の情勢」という演題で講演していただきました。卒業後四十数年の厚みを感じさせる素晴らしい講演で、学生の皆さんが卒業後の自分を思い描く上での大きな力となり励みにしてもらえたものではなかったかと思います。講演後の懇親会は学生とOBとの交流の場ともなりました。考えてみれば、これまでそのような場がなかったわけで、交流の機会を作るという意味でも、今後もこの企画を継続していければと考えています。

来年2020年は、工学部が創立75周年を迎える年となるため、今、大学の方で記念事業の準備が進められています。その年海洋土木工学科は創設47年目となりますので、工学部の歴史を作ってきたと十分言える存在感を持つ学科です。どうぞ、積極的に記念事業に参加しご協力をいただきますようよろしくお願いします。

会員諸氏のご健勝を心から祈念申し上げます。

「しらなみ会本部活動報告」

本部庶務幹事 木佐貫 浄治（平成2年卒）

（1）海土棟改修に伴う支援事業

この事業は、平成29年4月に開催された「しらなみ会総会」において、承認していただいた事業です。海洋土木工学科棟が平成29年末から改修工事を行っていましたが、6月に竣工したことを受け、1階エントランス及び2階ベランダで、学生や同窓生など、海土

棟を訪れた方々が、情報交換（くつろげる）スペースを作るために、椅子及びテーブルをしらなみ会から寄贈しました。（予算200万円）

また、改修事業により、卒業生の方々は、驚くほど綺麗に、「あの配管むき出しの天井が繊細な空間」と劇的に変わっています。是非、新しい海土棟を訪れてください。



改修が終わった海土棟



広々となった研究室

(2) 卒業生による講演会

平成30年11月29日に、しらなみ会として初企画の「卒業生による講演会」を開催しました。

講師は海洋土木工学科（当時は海洋土木開発工学科）の第2期生（S53年卒）であり、現在、株式会社小野田ケミコ 代表取締役社長の井上勝巳さんをお願いしました。

「私の歩んで来た道と防災減災を巡る最近の情勢」と題して、講演を行っていただき、更に、講演会後は学生や卒業生も含めた意見交換会を新しくなった海土棟の2階で行いました。

非常に楽しい、学生にとっても有意義な時間を過ごすことができました。

（工学同窓会諸活動支援事業を活用させていただきました。）



井上氏による講演



卒業生と在校生との懇談会

(3) 第19回しらなみ会総会が開催されます

同窓会会則に定められている2年に1回開催される「しらなみ会総会」を下記により開催します。前は120名を超える同窓生の方に集まっていただきました。

今回もたくさんの方の出席をお待ちしております。

■開催日：平成31年4月20日(土)、場所：ジェイドガーデンパレス(鹿児島市)

16時～ 総会、 17時～ 特別講演会、 18時～ 懇親会

案内は、別途、メール等で連絡する予定ですが、連絡がつかない方も増えています。
情報の拡散をお願いします。

本部では、引き続き、同窓生皆様の意見を参考にさせていただきながら、同窓会活動を盛り上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

メルアド（木佐貫）：george@po.synapse.ne.jp（自宅）

kisanuki-george@pref.kagoshima.lg.jp（勤務先：鹿児島県庁）

総会の出席をはじめ、同窓生の集まり、情報提供、御意見・御要望、何でも結構です。気軽に連絡をください。[件名に「しらなみ会」という言葉を入れていただければ助かります。]

また、しらなみ会ではホームページを立ち上げています。上記の詳細な情報や同窓会活動などについて掲載しています。[「しらなみ会」で検索してください。]

HP：<http://oce.oce.kagoshima-u.ac.jp/~shiranami/index.html>

「東北支部活動報告」

東北支部長 山田 満秀（平成7年卒）

平成30年11月現在、東北地方に在住しているしらなみ会会員は、若干名となります。復興に携わった多くの方々に支えられ、発足しました東北支部も会員の減少にともない、本年度をもちまして東北支部としての名前はなくなることになりました。しかし、「しらなみ会」としての活動は継続していこうと考えています。残っているメンバーもS56年卒の益田さんを筆頭にH7卒、H19卒と年齢層はばらばらでも楽しく懇親会を開催しています。人数が減ったことは大変寂しいですが、逆に復興が進んだものと前向きに考えるようにしています。しかし、東北では今後、I L C建設のビッグプロジェクトも予定されております？ので、携われる方がいらっしゃいましたら是非とも東北へ足を運んで頂き、しらなみ会へご参加ください。また、そうでない方も東北へお越しの際は、親睦を図りたいと思いますので、ご連絡お待ちしております。

「関東支部活動報告」

関東支部長 瀬戸口 喜祥（平成7年卒）

平成30年度における関東しらなみ会の活動は以下の行事が行われました。

- 6月1日：平成30年度第1回関東しらなみ会懇親会
- 1月頃：平成30年度第2回関東しらなみ会懇親会（新年会）開催予定

6月1日に開催された懇親会では転勤等による初参加メンバー4名を含む、昭和54年卒～平成27年卒の18名（昭和卒：7名、平成卒11名）の方々にお集まりいただきました。会

は盛況で、益々の親睦が図られたと思いました。

また、6月9日に開催された浅野先生の退官記念パーティーには関東しらなみ会から手土産として焼酎を用意し、関東しらなみ会からも浅野先生にゆかりのある方々がパーティーに参加いたしました。

今年度は、1月頃に新年会を開催する予定で、多くの参加者が集まることに期待をしているところです。

これからも、関東しらなみ会では、学会等で関東へお越しになる先生、学生、同窓生を歓迎するような会（飲み方）を開催し、若手の参加も促しつつ、同窓生同士の親睦を深めていきたいと思っています。

「関西支部活動報告」

関西支部長 大田 英司（平成7年卒）

本年度は、7月4日に神戸で開催されましたコンクリート工学年次大会に合わせて、2名の先生、2名の学生及び卒業生が鹿児島から来阪され、神戸の中華料理屋で関西しらなみ会を開催しました。支部会員への周知が直前であったこと、神戸での開催であったことなどの理由で支部会員4名が参加したこじんまりした会ではありました。しかしながら、大学や学科の現状や今後、同窓会の今後など様々な話に花が咲き、あっという間に時間は過ぎ、閉会を迎えることとなりました。

本年度の特筆すべき事項としては、法文学部同窓会の声掛けを発端にして11月23日に、鹿児島大学関西地区同窓会を開催することとなり、事務局としてその準備・運営をお手伝



関西しらなみ会懇親会の様子

いさせていただきました。これまで、関西地区になかった、学部を跨ぐ同窓会を発足して
いこうという趣旨の基、たくさんの同窓生の方々にお集まりいただきました。ご参加いた
だきました皆様は、学部も年代も幅広かったのですが、鹿児島大学が好きだという共通の
思いを抱いておられるため、話題は尽きず話が弾み、このような会を継続していこうとい
う概ねのコンセンサスが得られたと思います。また、他学部他学科の同窓会の状況をお伺
いすると、様々な運営をされていることがわかりましたが、どの同窓会も新しい卒業生の
連絡先が入手できず、若い参加者がいないという問題を抱えていることがわかりました。
また、しらなみ会関西支部としては、結束力が強くてうらやましいとのお言葉を他学科の
方からいただけたことが、誇らしくうれしかったです。

しらなみ会関西支部では、毎年、年末の忘年会か年を開けてから新年会を開催しており、
他学部同窓会がうらやむ結束力を深めるべく本年度も新年会を開催する予定です。

「福岡支部活動報告」

福岡支部長 橋本 康範（平成7年卒）

● 平成29年度

平成29年11月22日（水）に、福岡市中央区渡辺通にある「旬菜食房 ぎょくちょう」に
て、福岡支部の年1回の総会と懇親会を、約40名の参加のもと開催いたしました。

平成30年2月10日(土)には、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部“福岡北辰斜の会”の総会・
懇親会に、しらなみ会福岡支部より6名参加しました。

● 平成30年度

平成30年11月30日（金）に、定番の開催場所となっております「ぎょくちょう」にて、
約30名の参加のもと、総会と懇親会を開催いたしました。

平成30年12月1日（土）に、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部“福岡北辰斜の会”の協
力により、在学生全学年対象のキャリア支援セミナーが開催され、しらなみ会福岡支部の
代表として、朝崎氏（S60年卒）に講師を務めていただきました。

また、平成31年2月9日（土）には、福岡北辰斜の会の総会・懇親会への参加を予定して
おります。

引き続き、しらなみ会の更なる発展に寄与してまいりたいと思います。

他支部でも苦勞されていることと思いますが、転勤や異動もあり連絡先の更新や情報把
握に苦勞しているなか、同期生同士の繋がりなどで参加される方もあることから、皆様か
らの情報提供は非常に貴重でありますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

☆連絡先 橋本のメールアドレス hashimoto.y02@city.fukuoka.lg.jp



福岡しらなみ会懇親会の様子

「新任教員挨拶」

助教 伊藤 真一

平成30年4月1日付で学術研究院理工学域工学系海洋土木工学専攻の助教として着任いたしました伊藤真一と申します。長い歴史と伝統を持つ鹿児島大学の教員として教育・研究活動に携われることを大変光栄に思っております。私は、平成30年3月に大阪大学大学院工学研究科で学位を所得し、そのまま4月から鹿児島大学に着任しました。出身地は岐阜県海津市というところで、宝暦治水の際に薩摩藩の方々に大変お世話になった地域です。専門分野は地盤工学であり、豪雨時の斜面崩壊の予知に関する研究を行っています。特に、データ同化や機械学習に着目し、これまでに蓄積されたデータを有効に活用して斜面崩壊の予知に役立てる方法について考えています。着任前は、初めての土地、初めての勤務ということもあり、少々不安もありましたが、海洋土木工学科の先生方、事務の皆様からサポートをいただき、楽しみながら仕事に励んでおります。不慣れな部分も多く、ご迷惑をおかけすること多いかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



鹿児島大学稲盛賞

(平成30年度)

平成30年度

[建 築 学 科]	有馬 真輝
[情報生体システム工学科]	西村 一心

鹿児島大学工学部稲盛学生賞

(平成30年度)

平成30年度

[機 械 工 学 科]	黒田 敦久	黒木 圭太
[電 気 電 子 工 学 科]	平川 大地	高木 佑誠
[建 築 学 科]	安長 瑠人	大脇由里加
[環境化学プロセス工学科]	服巻 晃志	渡邊 大佑
[海 洋 土 木 工 学 科]	山口 誠亮	川畑 雅樹
[情報生体システム工学科]	林 祐作	井手上陽祐
[化 学 生 命 工 学 科]	金子 美穂	飯干 寛太

累積学部長賞・成績優秀賞

(平成29年度)

平成29年度累積学部長賞

[機 械 工 学 科]	前田 和成	瀬戸口 直	堀 公哉
	山本 龍郎	高松 皆光	荒木 健太
	佐川 諒	井上 正治	橘木 健太

[電 気 電 子 工 学 科]	岩永 英俊 小牧 平知	松下 優介	山本 祐己
[建 築 学 科]	脇田 佳 赤松 麻由	東田 喜見 橋口 里菜	中野 友愛 塩月 智葉
[環境化学プロセス工学科]	上田 悠里 西野 巧海 窪田 杏樹	入佐 綾香 福原 芳樹 三国 勇大	平 雄也 清水 堅介
[海 洋 土 木 工 学 科]	軸屋 雄太 山口 誠亮	上橋 瑞希	邊木蘭 慧
[情報生体システム工学科]	山口 貴洸 持田 捷宏	波多腰慎矢 山元 弘道	二見 悠樹
[化 学 生 命 工 学 科]	長谷部稜弥 鮫島 健介	円城寺佑貴	早坂美似奈

平成29年度累積成績優秀賞

[機 械 工 学 科]	大島 貴裕 福永 剛士 前田 祐輔	宮野原桜子 江頭 一真 木脇 聡志	山口 大輔 上之原直都 栗野 大志
[電 気 電 子 工 学 科]	隈元 大登 山下 裕介	石井 崇貴 石丸 聖大	中尾 太陽
[建 築 学 科]	有山 雅人 水口ひかる 辻端 彩乃	高木 香織 一ノ瀬悠輔	吉原 佳代 大津 愛那
[環境化学プロセス工学科]	岡田 惇 樺 佑太 濱砂 玲音 伊地知 諒 田淵慶一朗	登山 綾 辻 侑真 朝日 汰一 右山 咲	福園 涼 大上 哲朗 三浦 翔 緑川 杏奈
[海 洋 土 木 工 学 科]	久留 圭佑 福元 美穂 北嶋 唯斗 帆足 理沙	有働 采冬 園山 俊貴 栗野 広大 沖島 光一	馬場崇吉郎 森田 翔平 勝田 宏奈
[情報生体システム工学科]	森口 博子 吉井 誉揮 中村 奨	徳永 洸介 園田 展之 重信 拓音	山本 朋佳 野村 健士 成松 政輝
[化 学 生 命 工 学 科]	大嶋 健人 永元 里歩	岩永はるか 井手之上悟志	上妻 智也 立尾 清悟

岸 園 賞

平成21年4月故岸園司前同窓会会長からの寄付により、平成23年に創設されたのが岸園賞です。対象者は工学部の同窓会会員、学生、大学院生で次の各号の一に該当し、拡大幹事会で決定した会員に与えられます。

- 1) 鹿児島大学工学部の名を高めた者
- 2) 工学部同窓会活動に尽力した者
- 3) その他前1) 2) 号と同等以上の表彰に価する行為があったと認められる者

*平成25年8月23日の会則改正により個人のほか団体も対象となりました。

平成29年度受賞者

- 今村 彬氏（電気工学科 S29卒）
- 福井泰好氏（特別会員 元工学部長 元理工学研究科長）

平成30年度受賞者（2018年度受賞者）

- 炭谷圭二氏（機械工学第二学科 S55卒）

炭谷圭二氏は、鹿児島大学工学部機械工学第二学科を昭和55年に卒業し、九州大学大学院工学研究科機械工学専攻を昭和57年に修了後、トヨタ自動車(株)では平成30年2月定年退職までの36年間研究および車両開発に従事し、現在では国内外の会社にて技術指導を行っている者である。トヨタ自動車(株)では、空力分野の総責任者として長年にわたり研究開発および車両開発を牽引し、多くの新技術（特許・実用新案（公開53件および権利化31件））と新型車両を世に送り出した。これらについては、日本機械学会および自動車技術会の講演会において発表、講演等により数多く行ってきた。これらの技術的実績と社会への貢献が認められ、「自動車の空力特性および横風安定性に関する技術の開発」と題し、平成25年、日本機械学会賞（技術功績）および平成27年、トヨタ自動車社長賞を受賞した。また、平成10年、東京大学にて博士（工学）を取得し、自動車技術会では平成23年からフェローとして貢献している。日本機械学会賞（技術功績）の対象は、機械工業に関わる技術開発、生産技術、設計、計画等における顕著な業績であり、評価項目は、①独創性、②技術的進歩への継続的寄与度、③当該分野での周知度、④産業社会への貢献度となっている。受賞した炭谷圭二氏は、毎年5名以内の中から選出されている。このような顕著な業績を上げた炭谷圭二氏は、岸園賞を受賞するに相応しい方であると評価され受賞決定となる。

平成31年3月卒業及び修了生進路

機械工学科

奄美市役所
アイシン・エイ・ダブリュ
アルバック九州
大分キャノン
大島造船所
岡野バルブ
KYB
京セラ
九州電力
国家公務員
サノヤスホールディングス
GMT
JR九州
Gcomホールディングス
スズキ
ゼネラルエンジニアリング
ソラシドエア
ダイハツ工業
東芝デジタルソリューションズ
南国システムサービス
西日本プラント工業
日産車体
日清オイリオ
ネオキャリア
パソナ
日立建機
ファナック
VSN
三井E&Sマシナリー
三菱自動車エンジニアリング
三菱自動車工業
未来工業
モビテック
大和工機
ローム
鹿児島大学大学院
九州大学大学院

機械工学専攻

IHI
アイシン・エイ・ダブリュ
いすゞ自動車
荏原製作所
川崎重工業
九州電力
九州旅客鉄道
京セラ
SUMCO
山九
三相電機
シャープ
新日鐵住金
SCREENセミコンダクターソリューションズ
スズキ
住友化学
ダイキン工業
大豊工業
高田工業所
トヨタ自動車九州
トヨタ車体研究所
日清紡ホールディングス
NOK
パナソニック
パナソニックエコシステムズ
日立製作所
平田機工
ファナック
フジテック
富士電機
本田技研工業
牧野フライス製作所
三井ハイテック
ミットヨ
三菱ケミカル
三菱電機
ミネベアミツミ
メルコ・パワー・システムズ
安川電機
山陽特殊製鋼
LIXIL
YKK AP

電気電子工学科

(株)鹿児島空港ビルディング
(株)鹿児島放送
(株)関電工
(株)九州テン
(株)九電工
(株)きんでん
伸和コントロールズ(株) (2名)
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) (3名)
ダイキン工業(株)
(株)ディマージシア
(株)テラプローブ
(株)中山製鋼所
日本発条(株)
パナソニックデバイスSUNX九州(株)
(株)日立ハイテク九州
フェニテックセミコンダクター(株)
マイクロカット(株)
三菱自動車工業(株)
三菱電機ビルテクノサービス(株)
三菱電機プラントエンジニアリング(株)
メルコセミコンダクタエンジニアリング(株)
リコー ITソリューションズ(株)
ルネサスエレクトロニクス(株)
鹿児島大学大学院 (53名)
九州大学大学院
九州工業大学大学院
熊本大学大学院

電気電子工学専攻

(株)オービック
川崎重工業(株)
(株)GA technologies
キャノン(株)
九州電力(株) (2名)
京セラ(株) (2名)
(株)サニックス・ソフトウェア・デザイン
(株)ジーシー
JFEプラントエンジ(株) (2名)
住友電気工業(株)
セイコーエプソン(株)
ソニー LSIデザイン(株)
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
ダイキンエアテクノ(株)

ダイハツ工業(株)
 帝人(株)
 東芝メモリ(株)
 (株)ドコモCS九州
 西日本旅客鉄道(株)
 (株)野村総合研究所
 パナソニック(株)
 (株)日立製作所
 富士通(株) (2名)
 (株)富士通アドバンストエンジニアリング
 富士通九州ネットワークテクノロジーズ(株)
 富士電機(株) (2名)
 本田技研工業(株)
 三菱電機(株) (3名)
 (株)安川電機

建築学科

(株)青木あすなろ建設
 (株)麻生
 (株)一条工務店 (2名)
 鹿児島市役所
 (株)景観都市設計
 (株)構造計画研究所
 清水建設(株) (3名)
 新日本空調(株)
 セキスイハイム九州(株)
 大成建設(株)
 (株)竹中工務店
 タマホーム(株) (2名)
 西日本旅客鉄道(株)
 前田建設工業
 三機工業(株)
 (株)安成工務店
 吉原建設(株)
 九州大学大学院デザインストラテジー専攻
 鹿児島大学大学院建築学専攻 (25名)

建築学専攻

(株)IAO竹田設計
 (株)NTTファシリティーズ九州
 鹿児島市役所
 鹿島建設(株) (2名)
 ジェイアール東海コンサルタンツ(株)
 SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd
 (株)JFE設計
 清水建設(株) (2名)

新日鉄住金エンジニアリング(株)
 象設計集団
 大和ハウス工業(株) (3名)
 (株)竹中工務店 (3名)
 (株)丹青社
 (株)傳設計
 (株)東畑建築事務所
 (株)フジタ
 前田建設工業(株)
 (株)松田平田設計
 三井化学(株)
 宮崎県庁

環境化学プロセス工学科

(株)高田工業所
 三井化学(株)
 千代田工商(株)
 (株)大気社
 (株)日阪製作所 (3名)
 日本精工(株)
 (株)富士通鹿児島インフォネット
 (株)アイレップ
 アロン電気(株)
 (株)コスメナチュラルズ
 ゼネラルエンジニアリング(株)
 鹿児島大学大学院理工学研究科 (22名)
 九州大学大学院総合理工学府

海洋土木工学

JR九州コンサルタンツ(株)
 (株)安藤・間
 エム・エムブリッジ(株)
 大林組(株)
 (株)奥村組
 鹿児島土木設計(株)
 (株)建設技術コンサルタンツ
 (株)五省コンサルタント
 五洋建設(株)
 西部ガス(株)
 サンコーコンサルタント(株)
 首都高メンテナンス西東京
 (株)新日本技術コンサルタント
 (株)西部技術コンサルタント
 (株)大進
 大成ロテック(株)
 ダイダン(株)

中央コンサルタンツ(株)
 (株)東亜建設工業
 (株)十八測量設計
 国土交通省九州地方整備局
 鹿児島県庁
 鹿児島市役所
 北九州市役所
 長崎県庁
 佐世保市役所
 宮崎県庁
 鹿児島大学大学院 海洋土木工学専攻
 東京大学大学院 社会文化環境学専攻

海洋土木工学専攻

JX金属(株)
 (株)奥村組
 オリエンタル白石(株)
 九州旅客鉄道(株)
 東洋建設
 (株)ナカボーテック
 日鉄住金高炉セメント(株)
 パシフィックコンサルタンツ(株)
 (株)横河ブリッジ
 愛媛県庁
 長崎県庁
 (学)大牟田学園 大牟田高等学校

情報生体システム工学科

(株)MJC
 (株)NTTデータ九州
 (株)NTTドコモ
 (株)NTTファシリティーズ
 SCSKニアショアシステムズ(株)
 T&D情報システム(株)
 (株)アドバンストメディア
 岩崎産業(株)
 (株)カーネルコンセプト
 (株)カールビット
 鹿児島大学大学院理工学研究科 (43名)
 九州大学大学院
 共立(株)
 (株)サザンクロスシステムズ
 セントラルソフト(株)
 ソフトキューブ(株)
 ソフトマックス(株) (2名)
 (株)第一コンピュータリソース

奈良先端科学技術大学院（2名）
 東京エレクトロン(株)
 東京コンピュータサービス(株)
 東芝デジタルソリューションズ(株)
 鳴門教育大学教職大学院
 ネットイーグル(株)
 ハウステンボス(株)
 浜松ホトニクス(株)
 (株)日立ソリューションズ西日本
 富士通FIP九州(株)
 富士電機(株)
 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
 リーフラス(株)
 リゲイングループ(株)
 リコー ITソリューションズ(株)

情報生体システム工学専攻

(株)JALインフォテック
 NECネクサソリューションズ(株)
 (株)NTTデータ
 NTTデータ先端技術(株)
 (株)NTTドコモ
 Yahoo(株)（2名）
 大分キヤノン(株)
 九州保健福祉大学
 京セラ(株)（2名）
 サイバーステップ(株)
 (株)ジーニー
 (株)ジオ技術研究所
 (株)島津製作所
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)（4名）
 (株)ソフトサービス
 タボット(株)
 (株)テクノプロ
 東芝デバイス&ストレージ(株)
 (株)トヨタ車体研究所（2名）
 パナソニックインフォメーションシステムズ(株)
 パナソニックデバイスSUNX九州(株)
 (株)終ソフト開発
 (株)日立製作所
 富士通(株)
 富士通FIP九州(株)
 (株)富士通インフォネット
 (株)富士通九州システムズ
 富士電機(株)
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)

(株)村田製作所
 リコー ITソリューションズ(株)
 ルネサスエレクトロニクス(株)
 ローランド(株)

化学生命工学科

応研(株)
 九州電子(株)
 熊本市役所
 東京モノレール(株)
 南薩食鳥(株)
 日亜化学工業(株)
 富士ソフト(株)
 霧島酒造(株)
 (株)アステックペイントジャパン
 (株)アトル
 (株)インターネットインフィニティー
 キューサイ(株)
 (株)サナス
 トッパン・フォームズ(株)
 (株)メイテック
 リコー ITソリューションズ(株)
 鹿児島大学大学院理工学研究科(30名)
 奈良先端科学技術大学院大学

アキレス)
 三菱ケミカル
 日産化学工業
 京セラ
 京セラドキュメントソリューションズ
 アルバック九州
 熊本乳業
 星光PMC
 名古屋製酪
 トヨタ車体研究所
 テクノプロ・R&D社（2名）
 新日本科学PPD
 川澄化学工業
 大塚製薬
 日本新薬
 小林製薬
 北興化学工業
 新日本科学
 鹿児島大学大学院博士後期課程

化学生命・化学工学専攻

大分ガス
 ラピスセミコンダクタ宮崎
 住友大阪セメント
 東レエンジニアリング
 ニチアス
 オルガノ
 丸善石油化学
 味の素エンジニアリング
 KJケミカルズ
 新日鉄住金化学（2名）
 ニプロ
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（5名）
 スズキ
 ADEKA
 DIC
 タクマ
 中外製薬工業
 NOK
 大学院
 興人フィルム&ケミカルズ

同窓会役員名簿および部会

2019年1月現在

顧問	渡邊 睦 (工学部長)
会長	松永 洋文 (海士52)
副会長	5部会会長 (次頁)
庶務幹事	酒匂 一成 (海士H13修)
会計幹事	山元 和哉 (応化工H8)
編集幹事	重井 徳貴 (電気H4)
監事	福原 稔 (機械56)
	宮城 泰児 (建築58)

【評議員】

◆機友会 (機械工学科・機械工学第二学科)

浜崎 和則 (39)	米倉 真一 (40)
皮籠石 紀雄 (45)	福原 稔 (56)
池田 清和 (56)	千田 一成 (61)
江口 之浩 (H1)	野妻 光彦 (H1)
田淵 大介 (特別会員)	定松 直 (特別会員)

◆南窓舎密会 (応用化学学科・化学工学科・応用化学工学科・生体工学科 (生体機能材料工学コース)・環境化学プロセス工学科・化学生命工学科)

鎌田 薩男 (34)	染川 賢一 (39)
下茂 徹朗 (46)	大竹 孝明 (52)
吉留 俊史 (60)	安藤 浩毅 (H2)
伊藤 博雅 (44)	中島 常憲 (H6)
小幡 透 (H7)	有水 伸一 (H7)

◆錦水会 (電気工学科・電子工学科・電気電子工学科・情報工学科・生体工学科 (生体電子工学コース)・情報生体システム工学科)

永野 博 (46)	権藤 正信 (52)
本田 博 (52)	小田 博昭 (47)
吉留 進 (47)	池田 浩二 (51)
測田 孝康 (63)	鹿嶋 雅之 (H11修)
川越 明史 (H9)	向田 善博 (H9)

◆しらなみ会 (海洋土木開発工学科・海洋土木工学科)

武若 耕司 (52)	萩 亮 (52)
濱田 成敏 (61)	羽田 好勝 (59)
木佐貫 浄治 (H2)	山中 浩平 (H2)
審良 善和 (H11)	濱園 誠 (H13)
長山 昭夫 (H16)	小池 賢太郎 (H23)

◆A O I 会 (建築学科)

守真 和弘 (41)	末吉 重栄 (44)
宮城 泰児 (58)	渡島 秀夫 (H2)
肥後 潮一郎 (H4)	日野 真琴 (H7)
川畑 忠行 (H8)	藤井 英俊 (H10)
峰元 信明 (H13)	

工学部同窓会事務局

窪田 玲子 TEL/FAX 099-285-3494
学内TEL/FAX 8317

部会各支部役員名簿

◆機友会

会	長	高崎	征忠	(39)
副	会	皮籠石	雄紀	(45)
庶務	幹事	福田淵	稔介	(56)
会	計	高橋	大淳	(特別会員)
編	集	高松	直二	(特別会員)
編	集	佐藤	紘一	(特別会員)
監	事	大脇	研二	(44)
監	事	大吉	正美	(53)
関	東支部	内齋	暉史	(43)
中	京支部	藤	幸一郎	(47)
関	西支部	篠崎	信一	(44)
福	岡支部	池田	篤	(51)

◆錦水会

会	長	葉山	勝年	(41)
副	会	永野	博昭	(46)
副	会	小田	博昭	(47)
庶務	幹事	向田	善博	(H9)
会	計	曲田	畜二	(46)
編	集	池田	浩二	(51)
監	事	濱田	信之	(41)
監	事	原田	俊幸	(53)
学内	庶務	淵田	孝康	(63)
学内	会	川越	明史	(H9)
学内	編	鹿嶋	雅之	(H11 修)
関	東支部	田原	洋一	(47)
関	西支部	白濱	和人	(58)
東	海支部	永野	博	(46)
福	岡支部	藤	正信	(52)
熊	本支部	田	昭博	(47)
宮	崎支部	田	博進	(52)
鹿	児島支部	留	進	(47)

◆AOI 会

会	長	武田	敏郎	(42)
副	会	徳富	久二	(42)
顧	問	川上	道夫	(34)
庶務	幹事	塩屋	晋一	(57)
会	計	鷹野	敦	(H14)
編	集	増留	麻紀子	(H11)
監	事	増村	固	(48)
監	事	下山	道男	(55)
関	東支部	塘直	樹	(41)
関	西支部	瀬山	憲正	(47)
北	九州支部	佐伯	憲二	(48)
大	分支部	和田	正遠	(25)
宮	崎支部	安部	洋人	(46)

◆南窓舎密会

会	長	染川	賢一	(39)
副	会	安藤	浩毅	(H2)
監	事	田中	常博	(44)
監	事	下嶋	徹憲	(H6)
代	表	吉茂	朗	(46)
庶務	幹事	伊留	俊史	(60)
庶務	幹事	山藤	博雅	(44)
庶務	幹事	有本	高師	(53)
庶務	幹事	東正	伸一	(H7)
会	計	満塩	勝樹	(H8)
会	計	大竹	孝明	(52)
会	計	山崎	孝明	(58)
編	集	増口	やよい	(58)
編	集	橋永	卓朗	(H23)
編	集	下之	周平	(H6)
編	集	小蘭	太郎	(H15)
編	集	鮫幡	透	(H7)
教	官	甲斐	宗一郎	(論博H13)
関	東支部	徳敬	美勝	(59)
東	海支部	種子	正実	(41)
関	西支部	福里	隆一	(46)
北	九州支部	黒田	真也	(41)

◆しらなみ会

会	長	萩	亮	(52)
副	会	羽田	好勝	(59)
監	事	濱田	成敏	(61)
庶務	幹事	木佐貫	浄治	(H2)
庶務	副幹事	審良	善和	(H11)
会	計	濱園	誠	(H13)
会	計	長山	昭夫	(H16)
編	集	山池	浩平	(H2)
編	集	小田	賢太郎	(H23)
東	北支部	山田	満秀	(H7)
関	東支部	瀬戸口	喜祥	(H7)
関	西支部	大田	英司	(H7)
福	岡支部	橋本	康範	(H7)

◆工学部同窓会大分県支部

支	部	長	大石	喬	(応化 37)
副	支	部	清田	善之	(建築 46)
幹	事	長	渡辺	高行	(機械 49)
顧	問		和田	正遠	(建築 25)

本部 だより

平成30年度 鹿児島大学工学部

同窓会拡大幹事会 議事録

日 時：平成30年 8月17日(金)

17:00～18:20

場 所：ジェイドガーデンパレス 4F 飛天

参加者：

本部 松永洋文会長、酒匂一成庶務幹事、
重井徳貴編集幹事、山元和哉会計幹
事、福原稔会計監事、宮城泰児会計
監事

機友会 皮籠石紀雄副会長、福原稔庶務幹
事、田淵大介会計幹事、高橋淳二
会計副幹事、定松直編集幹事

錦水会 葉山勝年会長、淵田孝康庶務幹事、
川越明史会計幹事

AOI会 武田敏郎会長、曾我和弘先生、
鷹野敦会計幹事、増留麻紀子編
集幹事

南窓舎密会 染川賢一会長、下茂徹朗代表
幹事、吉留俊史庶務幹事、東
正樹庶務幹事、大竹孝明会計
幹事、満塩勝會計幹事、増永
卓朗会計幹事

しらなみ会 萩亮会長、羽田好勝副会長、
木佐貫浄治庶務幹事、審良善
和庶務副幹事、山城徹先生、
長山昭夫会計幹事

事務員窪田玲子 計31名

議題1. 会長あいさつ

○松永会長が新役員体制での運営が開始されたことに加え今年度からの重点課題である工学部創立75周年記念事業に向けての支援体制について等を含めあいさつされた。

○6月13日学長室にて「進取の精神支援基金」寄附金贈呈式が執り行われたこ

とが報告された。

議題2. 平成29年度同窓会運営報告

(担当幹事より)

1) 平成29年度行事および会議報告

○平成29年度に執り行われた庶務、編集、会計幹事会の内容が報告され、確認された。

2) 平成29年度本部会計決算報告

○一般会計、岩崎基金、岸園基金の歳入、歳出および次年度への繰越金が確認された。岩崎基金は銀行の支店統合に伴い三菱UFJ信託銀行からみずほ銀行へ口座を一つにまとめたことが確認された。また、「進取の精神」支援基金への寄附がなされたことも併せて報告された。

3) 会計監査報告

○宮城泰児会計監事より平成30年6月21日の会計監査の結果、関係書類が適正に処理されていたと報告された。

4) 同窓会名簿第15号第5版発行報告

○発行数、発行費が確認された。昨年同様に梱包作業にバイト2名の雇用がなされたと報告された。

5) 会報「南桜風」第16号発行報告

○製本数、発送数、返送数が確認された。(株)サルト、濱島印刷(株)の支払額(発行経費)が確認された。

○発送の際、住所不明者情報の提供を同期の方に協力いただいていることが説明された。

○予算額を上回った要因として、特別寄稿の掲載により頁数が増えたことに依ると説明された。

議題2について意見・質問はなく、承認された。

議題3. 平成30年度同窓会運営計画

(担当幹事より)

1) 平成30年度同窓会行事および会議報告と計画

○庶務、編集、会計は概ね例年通りであること、期成会に関する年間行事の記載を加えたことが説明された。

2) 平成30年度本部会計予算案

○今年度の事業に伴う予算計画が説明された。

○今年度より一般会計の中から周年事業準備基金への積立が開始する説明がされた。

○岩崎基金に依る事業計画はない。岸園基金は例年の事業に加え、期成会への寄附金を計上したと説明された。

3) 会費納入状況および本部・部会への配分額

○各部会の現況と配分額が確認された。未納者へ向けての督促状送付時期、送付先が説明された。

4) 同窓会名簿第15号第6版発行計画

○印刷業者、発行部数、見積り、今後の作業の流れが説明された。

5) 会報「南桜風」第17号発行計画

○印刷業者、発行部数、予算、作業の流れが説明された。

1)～5)についての意見・質問はなく承認された。

6) 同窓会名簿第16号発行について

○発行形態の変更が提案された。会員へは書籍名簿で販売し、卒業生にはCDに配布する方法に変更すると現状と変わらず事業展開ができる見込みであると説明された。

○名簿の発行周期を3年→5年への変更が提案された。それによるメリット、デメリットの説明に加え、承認された場合は現行の会則(細則)の改正を伴うことが説明された。

質問1: 吉留俊史南窓舎密会庶務幹事: 周期を変える必要があるのはなぜか。

回答1: 重井本部庶務幹事: 名簿業者の見解では売れなくなるとのことである。そうなると必然的に今後の名簿作成に伴う経費が高くなることが懸念される。

質問2: 吉留俊史南窓舎密会庶務幹事: CD化による情報漏洩はないか。

回答2: 重井本部編集幹事: 取扱いに関する注意喚起をより多く行うなどして対応したい。CDでの配布は他学部でも既に実施している方法なので、それらを参考にし万全の対策を講じたい。

質問3: 審良善和しらなみ会庶務副幹事: CDでの販売は行わないのか。

質問3: 重井本部編集幹事: 販売は現行通り紙媒体でのみ行う。両方の販売を行うとした場合の見積額が高額であったことによる。

質問4: 染川賢一南窓舎密会会長: 名簿の中身が大事では。掲載が多くなる方法をとってもらいたい。

回答4: 重井本部編集幹事: 調査をしっかりとし内容を充実させるように行っていきたい。

質問5: 東正樹南窓舎密会庶務幹事: データは更新しないのか。不明調査は行っているか。

回答5: 重井本部編集幹事: 名簿作成後改めて個人調査は行わないが、連絡があったデータは更新し最新のものにしている。また、今後も会報発行時に不明者調査を行い、データを更新していく計画である。

名簿16号の発行形態、発行周期は承認を得られ、会則の細則は平成30年8月17日付にすることが確認され、承認された。

7) 工学部同窓会学生諸活動助成の募集について

○詳細の説明と内容が確認された。

8) 工学部同窓会諸活動支援の募集について

○詳細の説明および企画は学部全体に周知する事が望ましいと確認された。

以上

鹿児島大学同窓会連合会だより

平成30年度鹿児島大学同窓会連合会総会・懇親会が平成30年4月7日（土）に城山ホテル鹿児島にて、工学部同窓会からは総会13名、懇親会34名が参加し開催されました。総会では前年度の事業報告、会計監査報告がなされ満場一致で承認されました。今年からは共同獣医学部も加わり、全9学部での連合会組織となります。本会は毎年入学式後最初の土曜日開催となっており、懇親会～卒業生の集い～は卒業生であればどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。



平成29年度会計報告

会計幹事 山元 和哉（応化工H8年卒）

平成30年度から本部会計幹事を担当させていただきます。宜しくお願い申し上げます。同窓会本部の一般会計、岩崎基金、岸園基金について、別表（P53、54）に従って収支決算を報告させていただきます。

一般会計の主な収入は前年度繰越金（9,298,658円）と学部の新入生、編入学生等が納入する同窓会終身会費（20,000円/人×447人＝8,940,000円）です。これらの収入に会報広告代、預貯金利子を合わせて、歳入の合計金額は18,387,051円となりました。主な支出としては、各部会への終身会費の支払い（4,320,000円）、本部運営関連経費（1,409,917円）がありました。そのほかには、会報16号の発行費（2,667,319円）、平成29年度学部卒業生に配布した同窓会追録名簿（15号第5版）の発行費（565,500円）、役員会・評議会等運営費（121,048円）、同窓会連合会分担金（100,000円）、本部役員出張費（180,000円）、大分県支部総会補助費（44,000円）、同窓会本部部屋の借り受け金と工学部事務助成費（192,640円）、学生の諸活動助成費（165,000円）、慶弔費等（25,394円）がありました。歳出の合計金額は10,470,713円でした。この結果、歳入から歳出を差し引いた7,916,338円を次年度へ繰り越すことになりました。

岩崎基金については、鹿児島大学「進取の精神」支援基金への寄付金（3,000,000円）、みずほ銀行の新規口座開設と手数料等（1,728円）を支出したため、12,888,245円を次年度へ繰り越すことになりました。

岸園基金については、岸園賞記念品費（100,000円）、司会の開催経費（211,604円）、受賞者旅費（60,000円）、諸活動支援費（514,000円）を支出し、27,650,205円を次年度へ繰り越すことになりました。

平成29年度一般会計決算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

歳入総額	18,387,051
歳出総額	10,470,713
差引残高	7,916,338
通帳①: 郵貯通常貯金	2,734,960
通帳②: 郵貯定額貯金	5,096,289
現金	85,089
合計	7,916,338

(歳入)

項 目	H29予算額	H29決算額	差額(注2)	H29決算の備考
前年度繰越金	9,298,658	9,298,658		(注1)
本年度入学者納付金	9,040,000	7,840,000	-1,200,000	392名×2万
本年度外国人入学者納付金	60,000	60,000	0	3名×2万
本年度編入学者納付金	340,000	340,000	0	17名×2万
本年度博士課程入学者納付金	40,000	40,000	0	2名×2万
以前の入学者納付金	40,000	580,000	540,000	29名×2万
以前の編入・外国人・博士納付金	0	80,000	80,000	4名×2万
小計	18,818,658	18,238,658	-580,000	
会報16号広告代	50,000	90,000	40,000	3社
総会残金	0	27,550	27,550	
雑費		20,000	20,000	会費2重払い1名分
預貯金利子	11,000	10,843	-157	郵貯普通37、定額貯金10,806
合計	18,879,658	18,387,051	-492,607	

(注1) H29予算額の前年度繰越金9,298,658円=(H28歳入額) 19,149,965円-(H28歳出額) 9,851,297円

(歳出)

項 目	H29予算額	H29決算額	差額(注2)	H29決算の備考
(各部会割当金)				
機友会	980,000	990,000	10,000	88/93 編5、前編1、前5
錦水会	1,750,000	1,750,000	0	150/164 外2、編8、博1、前編2、前13
AOI会	630,000	450,000	-180,000	43/56 外1、編3、博1、前5
南窓会密会	900,000	650,000	-250,000	72/88 前外1、前4
しらなみ会	520,000	320,000	-200,000	39/51 編1、前2
南翔会	0	0	0	
未納学生の退学・除籍の部会への返金	160,000	160,000	0	機1、錦8、AOI 6、南1
小計	4,940,000	4,320,000	-620,000	
(本部運営関連)				
会長経費	40,000	40,000	0	
庶務経費	40,000	40,000	0	
会計経費	40,000	40,000	0	
編集経費	40,000	40,000	0	
事務員給与	1,020,000	1,027,995	7,995	
通信費	60,000	48,685	-11,315	通帳手数料含む
事務費	200,000	173,237	-26,763	会費2重払い返金含む
小計	1,440,000	1,409,917	-30,083	
同窓会総会・懇親会費・講演会謝金	700,000	679,940	-20,060	本部負担金、部会補助、講演会謝金
旅費補助	40,000	0	-40,000	
小計	740,000	679,940	-60,060	
会報16号発行費	2,450,000	2,667,319	217,319	製本、発送代、不明者調査
追録名簿(15号第4版)発行費	650,000	565,500	-84,500	H29年度卒業生、修了生
役員会・評議会等運営費	150,000	121,048	-28,952	同窓会連合会懇親会費含む
鹿児島大学同窓会連合会分担金	100,000	100,000	0	
本部役員出張旅費	240,000	180,000	-60,000	大分県支部総会、同窓会連合会関東支部総会
大分支部総会補助金	44,000	44,000	0	2,000円/人
不動産借り受け金	62,640	62,640	0	0部屋代
工学部事務助成費	130,000	130,000	0	0助成費
学生諸活動助成費	225,000	165,000	-60,000	各学科諸活動・工学部体育祭
小計	4,051,640	4,035,507	-16,133	
工学部創立75周年記念事業関係	50,000	1,697	-48,303	臨時会合費用
小計	50,000	1,697	-48,303	
慶弔費	100,000	23,652	-76,348	末永勝郎先生供花、弔電
予備費	7,558,018	0	-7,558,018	
小計	7,658,018	23,652	-7,634,366	
合計	18,879,658	10,470,713	-8,408,945	

(注2) 差額はH29決算額-H29予算額

平成29年度の歳入決算額18,387,051円-平成29年度の歳出決算額10,470,713円=7,916,338円を平成30年度へ繰り越す。

平成29年度岩崎基金決算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

歳入総額	15,889,973
歳出総額	3,001,728
差引残高	12,888,245

通帳③ みずほ普通預金	12,888,245
合計	12,888,245

(歳入)

項 目	H29予算額	H29決算額	摘要
前年度繰越金	15,881,821	15,881,821	
UFJ定期預金利息	0	2,757	三菱UFJ信託銀行解約に伴う利息
UFJ定期預金利息		112	三菱UFJ信託銀行解約に伴う利息・みずほ銀行から移行した金額分の利息
UFJ普通預金利息	0	3,390	
みずほ定期預金利息	0	893	H29.9.11みずほ銀行解約に伴う利息
みずほ銀行通帳準備金		1,000	一般会計より
合計	15,881,821	15,889,973	

*三菱UFJ銀行鹿児島支店終了に伴いみずほ銀行新規口座開設 H30.3.19

(歳出)

項 目	H29予算額	H29決算額	摘要
鹿大進取の精神支援基金 寄附金	3,000,000	3,000,000	H29.9.11国立大学法人鹿児島大学長 指定口座へ
鹿児島大学への振込手数料		864	
三菱UFJ信託銀行への移行に伴う振込手数料		864	
合計	0	3,001,728	

平成29年度の歳入決算額15,889,973円-平成29年度の歳出決算額3,001,728円＝12,888,245円を平成30年度へ繰り越す。

平成29年度岸園基金決算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

歳入総額	28,535,809
歳出総額	885,604
差引残高	27,650,205

通帳④鹿銀普通預金	2,638,616
通帳⑤鹿銀定期預金	25,011,589
合計	27,650,205

(歳入)

項 目	H29予算額	H29決算額
前年度繰越金	28,530,486	28,530,486
鹿銀普通預金利息	0	28
鹿銀定期預金利息	0	5,295
合計	28,530,486	28,535,809

(歳出)

項 目	H29予算額	H29決算額	摘要
岸園賞	250,000	100,000	受賞者2名
司(つかさ)会 補助金	200,000	211,604	会場費、食事代、横断幕代、飲物代
司(つかさ)会 岸園賞受賞者 旅費補助	60,000	60,000	三宅氏(関東)1名分
諸活動支援金	700,000	514,000	5部会、理工学研究科
合計	1,210,000	885,604	

平成29年度の歳入決算額28,535,809円-平成29年度の歳出決算額885,604円＝27,650,205円を平成30年度へ繰り越す。

つかさかい 司会の報告

第7回目を迎える司会が2018年8月17日に工学部に関係する方々48名にお集まりいただきジェイドガーデンパレスにて開催されました。会では昨年度岸園賞を受賞された元工学部長の福井好泰先生（元理工学研究科長・元機械工学科教授）と前同窓会会長の今村 彬氏（電気S29）への賞状伝達があり、引き続きお二方によるご講話を賜りました。懇親会は錦水会会長の葉山勝年氏（電気S41）に乾杯のご発声をいただいたの開始となり、あちらこちらで会話が弾んだひとときでした。最後は渡邊睦現工学部長の一本締めにて盛会裏のうちに終了となりました。



平成30年度 鹿児島大学工学部 同窓会 第7回 司会 平成30年8月17日 於：ジェイドガーデンパレス

工学部同窓会大分県支部総会

報告（文責）：山元 和哉（本部会計幹事）

平成30年6月9日（土）に大分センチュリーホテル（大分市）にて大分県支部総会が開催されました。本会は今年で第38回を迎え、大石 喬支部長（応化S37卒）、和田 正遠顧問（建築S25）のもと、来賓として錦水会から川越明史先生（錦水会会計幹事、電気電子H9卒）、同窓会本部より山元会計幹事（応化工H8卒）が出席しました。総会では、佐藤諄之助名誉支部長（建築S23）、福田 公則副支部長（電気S38）のご逝去の報告を受け、参加者全員で黙祷を捧げました。大石 支部長のご挨拶後、山元より工学部同窓会の状況や2020年に迎える工学部創立75周年記念事業にむけての準備状況、また川越先生より鹿児島大学および学科の近況等について報告がありました。懇親会には18名が参加し、和田 正遠 顧問のご発声による乾杯ではじまり、歓談の後、参加者による近況報告がありました。本会は、工学部の卒業生以外にも、法文学部、理学部、農学部卒業生も参加されており、和気あいあいとした雰囲気、懇親会後の二次会（三次会）まで盛り上がりました。来年度（2019年）も同様の時期・会場にて開催予定ですので、大分市近郊の皆様は情報交換の場として是非ご参加ください。



第38回 鹿児島大学工学部 同窓会 大分県支部総会 平成30年6月9日 於：大分センチュリーホテル

鹿大「進取の精神」支援基金 2018年度報告



大学が提唱し設立された「鹿大「進取の精神」支援基金」へは工学部同窓会を含む各学部同窓会も拠金するに至り、工学部同窓会は2017年9月11日に300万円を拠金しました。

2018年6月11日に各学部の同窓会会長が一堂に会しての寄附金受納式が執り行われました。前田学長をはじめ理事の方々からは各同窓会に向けてのお礼とあいさつがなされ、その後の懇親会は学長と同窓会会長との意見交換の機会が得られた形となりました。

この寄附金はグローバルな視点を有する地域人材育成のため本学の学生の海外派遣や留学生受入支援、若手研究者の育成、支援を進める目的として使用されます。

鹿大「進取の精神」支援基金事業の平成30年度事業計画

■学生海外派遣事業 2,850万円

(内訳)

- A. 長期派遣留学（10週間～1年）：680万円（10名）
- B. 中期派遣留学（29日～90日）：835万円（28名）
- C. 地域貢献型海外研修（28日以内）：1,095万円（127名）
- D. 海外活動事前準備教育：144万円
- E. 英語外部試験受験支援：61万円
- F. 事業運営費：35万円

■留学生受入推進事業 1,500万円

■若手研究者支援事業 600万円

特別寄稿

工学部のあゆみ

工学部は2020年に創立75周年を迎えます。これまでの工学部のあゆみを写真とともに振り返ってみます。

- 1945年 4月 鹿児島県立工業専門学校「機械科、電気科、建築科、化学工業科」設置
- 1949年 2月 鹿児島県立大学工学部「機械工学科、電気工学科、建築学科、応用化学科」と改称
- 1955年 7月 国立大学鹿児島大学工学部に移管
- 1956年 5月 伊敷キャンパスより荒田キャンパスに移転完了



伊敷キャンパスの図書館



荒田キャンパスの建物（1959年頃）



紫原から望む荒田キャンパス（1959年頃）

- 1959年 4月 鹿児島大学工学専攻科「機械工学専攻、電気工学専攻、建築学専攻、応用化学専攻」設置
- 1963年 4月 「機械工学第二学科」設置
- 1964年 4月 「化学工学科」設置

- 1967年 4 月 「電子工学科」、工学専攻科「機械工学第二専攻」設置
- 1968年 4 月 鹿児島大学大学院工学研究科（修士課程）「機械工学専攻、機械工学第二専攻、電気工学専攻、建築学専攻、応用化学専攻、化学工学専攻」設置
- 1971年 4 月 鹿児島大学大学院工学研究科（修士課程）「電子工学専攻」設置



工学部全景（1971年頃）

- 1973年 4 月 「海洋土木開発工学科」設置
- 1980年 4 月 鹿児島大学大学院工学研究科（修士課程）「海洋土木開発工学専攻」設置



工学部正門（1988年頃）



工学部正門へ続く通り（1988年頃）

- 1989年 4 月 「情報工学科」設置
- 1991年 4 月 「応用化学科」・「化学工学科」を「応用化学工学科」に改組
- 1992年 4 月 「機械工学科」・「機械工学第二学科」を「機械工学科」、「電気工学科」・「電子工学科」を「電気電子工学科」、「建築学科」の名称はそのまま、「海洋土木開発工学科」を「海洋土木工学科」に改組
- 1994年 4 月 工学研究科修士課程を博士前期課程に改組、博士後期課程「物質生産工学専攻、システム情報工学専攻」設置
- 1994年11月 稲盛会館竣工



稲盛会館（現在）



情報生体システム工学科棟（現在）

- 1995年 7 月 4 日 工学部創立50周年記念式典
- 1997年 3 月 情報工学科棟（現情報生体システム工学科棟）竣工
- 1997年 4 月 「生体工学科」設置、「情報工学科」の改組
- 1998年 4 月 工学研究科を鹿児島大学大学院理工学研究科に改称
- 1999年 9 月 工学部共通棟竣工
- 2001年 4 月 理工学研究科博士前期課程「生体工学専攻」設置
- 2002年 4 月 理工学研究科に独立専攻として博士前期課程及び博士後期課程に「ナノ構造先端材料工学専攻」設置
- 2004年 3 月 理工系総合研究棟竣工



工学部共通棟（現在）



理工系総合研究棟（現在）

- 2009年 4 月 「応用化学工学科」・「情報工学科」・「生体工学科」を「環境化学プロセス工学科」・「情報生体システム工学科」・「化学生命工学科」に改組
- 博士前期課程：「機械工学専攻」・「電気電子工学専攻」・「建築学専攻」・「応用化学工学専攻」・「海洋土木工学専攻」・「情報工学専攻」・「生体工学専攻」・「ナノ構造先端材料工学専攻」の8専攻を「機械工学専攻」・「電気電子工学専攻」・「建築学専攻」・「化学生命・化学工学専攻」・「海洋土木工学専攻」・「情報生体システム工学専攻」の6専攻に改組

博士後期課程：「物質生産工学専攻」・「システム情報工学専攻」・「ナノ構造先端材料工学専攻」・「生命物質システム専攻」の4専攻を「物質生産科学専攻」・「システム情報科学専攻」・「生命環境科学専攻」の3専攻に改組

2016年4月 博士後期課程：「物質生産科学専攻」、「システム情報科学専攻」、「生命環境科学専攻」の3専攻を「総合理工学専攻」の1専攻に改組



工学部正門から眺める現在の工学部



工学部西門から眺める機械工学科1号棟と2号棟



環境化学プロセス工学科棟、建築学科棟、
機械工学科棟、情報生体システム工学科棟（手前から）



電気電子工学科棟（右）と建築学科棟（左）



化学生命工学科棟、機械工学科棟、
情報生体システム工学科棟（手前から）



海洋土木工学科棟、工学部共通棟、
環境化学プロセス工学科棟（手前から）

工学部同窓会諸活動支援

平成29年度（2017年度）

部 署：機友会

企 画：平成29年度 学生と若手技術者との交流会

（第1部：特別講演、第2部：パネルディスカッション、第3部：懇親会）

活 動 日：平成30年3月6日

活動場所：稲盛会館〔特別講演およびパネルディスカッション〕（160名）

教育学部食堂〔懇親会〕（57名）

企画内容：主に学部3年生および博士前期課程1年生を対象に、特別講演（2名）およびパネルディスカッション（同窓生の若手技術者6名）を通じて、これから就職活動をしていく学生へ就職活動の支援を行う。懇親会でも、さらに就職に関する詳細な情報交換できる場を提供する。

成果報告：平成30年3月6日（火）14時から稲盛会館において「学生と若手技術者との交流会」を、主に工学部3年生および博士前期課程1年生を対象に開催した。第1部では学内就職支援室の椰木氏および機友会関東支部北辰会の堤氏にご講演いただき、第2部では機友会の若手機械技術者6名をパネリストにお招きし、西村先生の司会の下、パネルディスカッションを実施した。第3部では教育学部食堂において懇親会を行った。今回の開催により、これから就職活動していく学生へ就職活動の支援を行うとともに、就職に関する詳細な情報交換できる場を提供できた。講演会、パネルディスカッションおよび懇親会に参加した学生は、先輩の機械技術者としての貴重な経験談を情報収集することにより、今後就職活動を有意義に実施することが期待できる。（片野^{かたの}田^だ 洋^{ひろし} 教授）



平成30年度（2018年度）

部 署：南窓舎密会

企 画：講演会「先輩の話を聞いてみよう」（共催 環境化学プロセス工学科、化学生命工学科、南窓舎密会）、および演者・学生等交流会

活 動 日：平成30年10月20日

活動場所：鹿児島大学 稲盛会館（107名）、ジェイドガーデンパレス（44名）

企画内容：講演会「先輩の話を聞いてみよう」は、大学を出て10年以上経過した先輩方がどのような仕事をしているのか、どのような学生を企業は望んでいるのか等、諸々の話を現役学生を含む同窓生に聞いてもらおうという企画で、2学科（環境化学プロセス工学科、化学生命工学科）、および南窓舎密会の共催である。講演に興味を持った学生と演者等とに、より詳細な情報交換をしてもらうことを目的とするものである。

成果報告：講演会「先輩の話を聞いてみよう」では2件の講演があり、107名の参加があった。仕事内容の紹介、エピソード、仕事での心構え、企業が望む学生像、等の話があり、現役学生を含む同窓生・教員等は熱心に聞き入っていた。いずれも就職後あるいは就活に生かされるものであった。演者においても、自らの仕事や会社を紹介することができ、有用な情報交換や交流が行われた。

講演1.「製薬業界における化学・化学工学専攻の必要性

～グローバル化が進む企業の中で感じること～」

遠藤 勇 氏（平成19年 応化工修了、武田製薬工業株式会社）

14：35－15：25

講演2.「新規事業創出の挑戦～失敗から学んだこと～」

宮田 寛 氏（平成元年 応化工修了、東ソー株式会社）

15：30－16：20

演者・学生等交流会（18：20－20：00）では、44名の参加があり、講演に興味を持った学生、演者、その他の同窓生・教員の間で交流が行われ、より詳細な情報交換の場となっていた。

みつしお まさる
(満塩 勝 助教)



部 署：AOI会

企 画：AOI会 建築ナビ「先輩と進路・就職を語る会」

活 動 日：平成30年10月6日（土）

活動場所：鹿児島大学 稲盛会館（180名）

企画内容：建築ナビとは、毎年最前線で活躍されている先輩をお招きし社会経験、人生観、等、後輩へ伝えたいことを講演頂きます。

成果報告：本年も、分野の異なる3名の先輩方に講演頂き、仕事内容の紹介、仕事観や人生観、等をご講演頂きました。

質疑応答の時間には、学生時代に行っておくべき事等も助言頂き、非常に有意義な指針を得る機会となりました。

また、学生にとって卒業生による講演は、親近感がわくと同時に、リアルな未来像として認知できるため、興味深く拝聴していました。

峯元 信明 「"意思あれば道あり" 日本一の看板屋を目指します！」

平成13年卒 株式会社ブンカ巧芸社 代表取締役社長

小園 照弘 「まちをつくるプロセス」

平成3年卒 (株)アール・アイ・エー 東京支社統括部長兼設計一部部長

原田 公明 「人生を振り返って」

昭和60年卒 (株)日建設計エンジニアリング部門構造設計グループ技師長

ますどめ まきこ 助教)



ポスター制作：MI 中尾



講師の先輩方 小園先輩 / 原田先輩 / 峯元先輩



部 署：錦水会

企 画：学生向け講演会「きばっど会」

活 動 日：平成30年10月27日

活動場所：稲盛会館ホール

企画内容：主に学部3年生と修士1年生を対象とした、卒業生による講演会である。講師として卒業生2名に依頼し、就職や進路を控えた学生に対して、社会人としての心構え、学生時代に取り組んでおくべき事項、社会に出てからの経験などについての話をしてもらう。他学年や他学科の聴講も可能である。

成果報告：講師として卒業生2名を招き、就職活動を控えた学部3年生および修士1年生を主な対象として、学生向け講演会「きばっど会」を開催した。講師は昭和58電気工学科卒業で現在は株式会社ダイヘン、品質・環境部 部長の白濱和人氏、平成16年情報工学専攻修了で現在はソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社の川邊一郎氏に依頼した。白濱氏は大学・会社での自分の経験を踏まえて学生時代の重要性などの話を、川邊氏は若い視点から学生生活と社会人との違いなどを講演し、いずれも学生にとって大変有意義で実り多いものとなった。講演会終了後は懇親会も開催され、学生には補助を出して招待し、講師と学生および卒業生との間の懇親を深めることができた。

（^{ふちだ} 渕田 ^{たかやす} 孝康准教授）

部 署：しらなみ会

企 画：海洋土木工学科 卒業生による講演会

活 動 日：平成30年11月28日

活動場所：海洋土木工学科AL室（54名）

企画内容：事業主旨

土木の各業界で活躍をしている卒業生に社会に出てからの様々な実体験を語ってもらうことにより、卒業生の活躍を知ってもらい学生の励みにしてもらうとともに進路選択の視野を深める契機ともなることを目指す。

（講演および質疑：約90分）

・講師：井上勝巳氏 海洋土木2期生（S53卒）、(株)小野田ケミコ代表取締役社長

成果報告：本企画では井上勝巳氏（2期生）を講師に招き、自身の大学生活やこれまでの従事した国内外業務内容、取締役社長としての会社運営について幅広い内容で講演いただいた。学生会員は土木分野の社会的な役割や責任、自身の進路選択について有益な情報を得ることができた。またその後の懇親会では卒業生と学生会員が交流し親睦を深めることができた。（^{ながやま} 長山 ^{あきお} 昭夫 助教）



工学部同窓会学生諸活動助成金報告

平成29年度

学 科：機械工学科

企 画：平成29年度機械工学科卒業・機械工学専攻修了記念パーティー

活 動 日：平成30年3月23日

活動場所：ジェイドガーデンパレス（146名）

事業報告：卒業記念パーティーを通じて、卒業生・修了生の学生生活最後の楽しい時間を共有することが出来た。また、これまでにお世話になった先生方や事務の方への感謝の意を伝える場にもなった。学業で最も優秀であった学生の表彰や各研究室の活動の報告を行い、これまで取り組んできたことの振り返りを行うことができた。本事業により、皆の思い出に残るような年度末最後の思い出となった。^{さの ゆうすけ}（佐野湧亮）



平成30年度

学 科：環境化学プロセス工学科

企 画：環境化学プロセス工・化学生命工ソフトボール大会

活 動 日：平成30年6月9日

活動場所：鹿児島大学教育学部球技場B（54名）

事業報告：梅雨中の開催となりましたが、今年も雨が降ることもなく、無事に大会を終えることができました。今年は4チームの参加となり、総当たり戦を行い、どの試合也大いに盛り上がりました。目的であった運動不足の改善及び、研究室の内外での絆を深めることができたと思います。助成金のおかげで大会の準備、景品の用意がスムーズに行えました。金額に関しても適切であると感じました。ご支援ご協力いただき、ありがとうございました。^{はま だ かずひろ}（濱田和博）



学 科：建築学科

企 画：建築学科1年生と教員の懇親会

活 動 日：平成30年10月9日

活動場所：学習交流プラザ（70名）

事業報告：建築学科1年生と教員、TAが懇親を深めた会となりました。1年生は、これから本格的に建築を勉強する上での心構えやアドバイスを先生方や先輩からいただくことができ、それをしっかりと受け止めていました。また、1年生同士でもお互いを知ることができ、非常に良い機会となりました。このような機会に本助成金が出ることは大変ありがたいです。（東田喜見^{ひがしだよしみ}）



学 科：海洋土木工学科

企 画：研究室配属、進学・就職相談会

活 動 日：平成30年10月17日

活動場所：海洋土木工学科棟1階 アクティブラーニング室（95名）

事業報告：本学科では、学部3年生の後期に研究室の仮配属を行っている。この仮配属は、学部4年生の配属を前に、4年生での研究生活やスケジュール把握、研究室在学学生と親睦を深めること、就職活動の情報を把握するなど、様々な目的がある。

しかし、昨年度まで、研究室の学生との接点がなく、講義内での研究室の紹介を一方的にするのみで希望研究室を選択する形がとられていた。そこで、本年度より、仮配属前に各研究室の研究や雰囲気に関して、在学生から直接聞く機会として、本企画を開催した。本企画では、研究室毎にブースを設置し、研究室について説明を行った（写真参照）。また、大学院進学や就職に関する相談も行った。進学や就職の情報が現実とは乖離や欠如しており、学部3年生にとっては、正確な情報を得られる貴重な機会となった。本企画は、後悔のない研究室選択に貢献できたと思う。

本助成金で準備した飲料や菓子類により、双方がリラックスして本企画に取り組めた。本企画は来年度以降も継続してほしいと同時に、助成金も継続して出して頂ければ幸いに思う。（津山雅徳^{つやまさのり}）



学 科：化学生命工学科

企 画：秋季環境化学プロセス・化学生命工学ソフトボール大会

活 動 日：平成30年11月10日

活動場所：鹿児島大学教育学部グラウンド（90名）

事業報告：6つのチームが出場しました。初めにリーグに分かれて行い、それぞれ順位付けをし、3位決定戦決勝戦等を行いました。参加者全員がソフトボールに一生懸命取り組み、とても良いソフトボール大会になりました。特に決勝戦は接戦でとても白熱した試合となりました。参加者全員のお陰で素晴らしいソフトボール大会となりました。

参加者に配布する飲料や優勝賞金、大会運営費等に使用させていただきました。豪華な優勝賞品に優勝したチームも喜んでおりました。ありがとうございました。（甲斐大介^{かいだいすけ}）



学 科：電気電子工学科

企 画：第49回電気電子工学科バドミントン大会

活 動 日：平成30年12月1日

活動場所：鹿児島大学教育学部第2体育館（36名）

事業報告：助成金をいただいたおかげで、備品を揃えることができ、今回の大会では快適な環境で活動することができ、非常に助かりました。ありがとうございました。
かみ お も と き
 （神尾知季）



鹿児島大学工学部同窓会会則

(名称)

第1条 本会は鹿児島大学工学部同窓会と称する。

(目的)

第2条 本会は会員相互の親睦と母校の発展をはかり、主として科学技術を通じて社会に貢献することを目的とする。

(事業)

第3条 本会はその目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、会員名簿の発行
- 2、会報の発行
- 3、工学部助成
- 4、その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 本会は次の会員で組織する。

- 1、正 会 員：鹿児島県立工業専門学校、鹿児島県立大学工学部および鹿児島大学工学部卒業生および在学生、ならびに同専攻科および同大学院工学研究科および理工学研究科（工学系）修了生および在学生
- 2、特別会員：鹿児島大学工学部教官・教員、ならびに鹿児島県立工業専門学校、鹿児島県立大学工学部および鹿児島大学工学部の教官・教員であったもの、その他評議会で承認されたもの
- 3、名誉会員：総会の決議により推薦されたもの

第5条 本会は本部を鹿児島大学工学部内におく。

第6条 本会に学科別会員をもって組織された各部会をおく。部会の組織については細則にこれを定める。

(役員)

第7条 本会には次の役員をおく。

本部役員として会長1名、副会長5名、顧問1名、評議員 各部会毎に10名以内、幹事3名、監事2名をおく。評議会が必要と認めた場合、名誉役員として名誉顧問を若干名おくことができる。

第8条 本部役員および名誉役員の任期は3年とする。ただし会長は2期までとし、その他の役員は再任をさまたげない。

第9条 顧問は工学部長とし、評議員は各部会より推薦する。会長、副会長、幹事、監事は評議会において選出する。名誉顧問は評議会において推薦する。

(運営)

第10条 会長は本会を代表し会務を総理し、評議会の議長となりその決議を執行する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。本部役員は評議会を構成し会務を審議する。幹事は会務を処理する。監事は会務全般の監査を行う。名誉顧問は評議会の諮問に応じ、会務の執行に対して意見を述べることができる。

第11条 会長は3年毎に総会を開き会務を報告する。ただし収支決算は毎年各部に報告する。

(会計)

第12条 会員は終身会費を納付しなければならない。ただし、特別会員および名誉会員はこの限りではない。

第13条 本会の運営に必要な経費は終身会費および雑収入をもってこれに充てる。

第14条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(会則変更)

第15条 本会の会則の変更は評議員総数の2/3以上の賛成を得た議案に対し、総会に諮ってこれを改正する。

(附則)

本会則は平成18年3月18日より施行する。

細則

(事業)

第1条 会員名簿の発行は5年ごととし、会報は原則として年1回発行する。
会報は、卒業生に関しては会費納入者のみに配布する。

(役員)

第2条 幹事は庶務、会計および編集等を分担する。

(部会)

第3条 部会は会員の希望により2学科以上をもって部会を組織することもできる。

第4条 部会は本会則の趣旨に沿ってそれぞれの会則を定めて運営し、その状況を適宜会長に報告する。

第5条 部会は必要に応じて各地区に部会支部をおく。ただし、支部会員の希望により部会支部は合同して同窓会支部を組織することができる。

(会計)

第6条 終身会費は入学時に20,000円とする。

第7条 会費の一部は入学定員により各部に按分され、部会独自の事業を行う。

昭和29年3月1日制定 (鹿児島工学会)

昭和33年3月5日改正 (鹿児島大学工学部同窓会規約)

昭和41年8月28日改正 (鹿児島大学工学部同窓会会則)

昭和48年9月1日改正

平成9年2月21日改正

平成18年3月18日改正

平成27年3月7日改正

平成29年8月18日改正

平成30年8月17日改正

編集後記

本部編集幹事・重井 徳貴

ここに工学部同窓会会報「南桜風」^{なんおうふう}第17号をお届けいたします。

平成30年度より3年間、同窓会本部の編集幹事を担当させていただくことになりました。任期中は、会報「南桜風」の発行を平成30年度（本誌）と2020年度（18号）に、同窓会名簿（16号）の発行を平成31年度（2020年3月発行予定）に予定しています。本誌では、各学科・専攻の状況、各支部の活動状況などの紹介のほか、2020年に75周年を迎える工学部の歴史を写真とともに紹介しております。工学部の75周年記念事業では記念誌の発行も予定されていますが、昔の写真は限られているため、会員の皆様で記念誌、会報、同窓会ホームページ等に掲載可能な昔の工学部の写真をお持ちでしたら、同窓会事務局までご一報いただけましたら幸いです。平成31年度は、会員の皆様の判明率の向上を目指して、工学部75周年事業に合わせて発行する同窓会名簿第16号の情報収集・編集作業をすすめて参ります。委託した専門業者によるハガキ・電話での問い合わせの実施について1ページ目で、個人情報に関する基本方針、同窓会本部の連絡先等を裏表紙裏でご案内しておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

機友会編集幹事・佐藤 紘一

編集幹事の不手際により執筆期間が大変短かったにもかかわらず、皆様にご協力いただき無事入稿することができました。この場を借りて御礼申し上げます。来年も機友会総会の開催が予定されています。ホームページ（<http://www.mech.kagoshima-u.ac.jp/~kiyukai/index.htm>）にて情報発信しておりますので、ご確認いただけますと幸いです。

錦水会編集幹事・鹿嶋 雅之

昨年4月に錦水会の学内編集幹事を引き継ぎ、今回初めて南桜風の編集に携わりました。部会だよりでは、各支部の行事、学内で開催したOB講演会「きばっど会」などについて紹介しました。初めての編集幹事の仕事で不慣れな点も多く、執筆にご協力いただいた会員の方々にはご不便をおかけしましたが、皆様のおかげで無事に記事を纏めることができました。この場を借りてお礼申し上げます。次号でも引き続きよろしくお願いいたします。

AOI会編集幹事・増留 麻紀子

会報作成にあたり、AOI会の活動報告と共に会員の皆様の近況を少しでも多くお伝えすべく、できる限りの皆様の寄稿を掲載しております。ご多忙中に関わらず、寄稿頂きました皆様に改めましてご協力感謝申し上げます。今後も多くの会員の皆様の直接の声をお届けする機会になればと思っております。本年度鹿児島AOI会総会にて、会名の本当の由来は、「あ、おーい、飲もうかい！」ではなく別に真実があるとお話がありました。命名された先輩方ぜひご教示下さい。

南窓舎密会編集幹事・橋口 周平

編集委員となって初めての年で「同窓会誌」の作成に携わることとなりました。総会の準備、名簿作成など編集委員の仕事をやっとの思いでこなした一年でしたが、同僚の先生方のご協力もあり何とか現状の形まで仕上げることができました。ありがとうございます。編集にあたり、ご投稿いただいた平田先生、石川先生、LEE君に御礼申し上げます。次号も担当の予定ですので、皆様からの情報をお待ちしております。

しらなみ会学内編集幹事・小池 賢太郎

会報を作成するにあたり、しらなみ会本部および各支部の担当者の皆さま、OB・OGの方々には多忙な時期に原稿を執筆頂き、ありがとうございます。

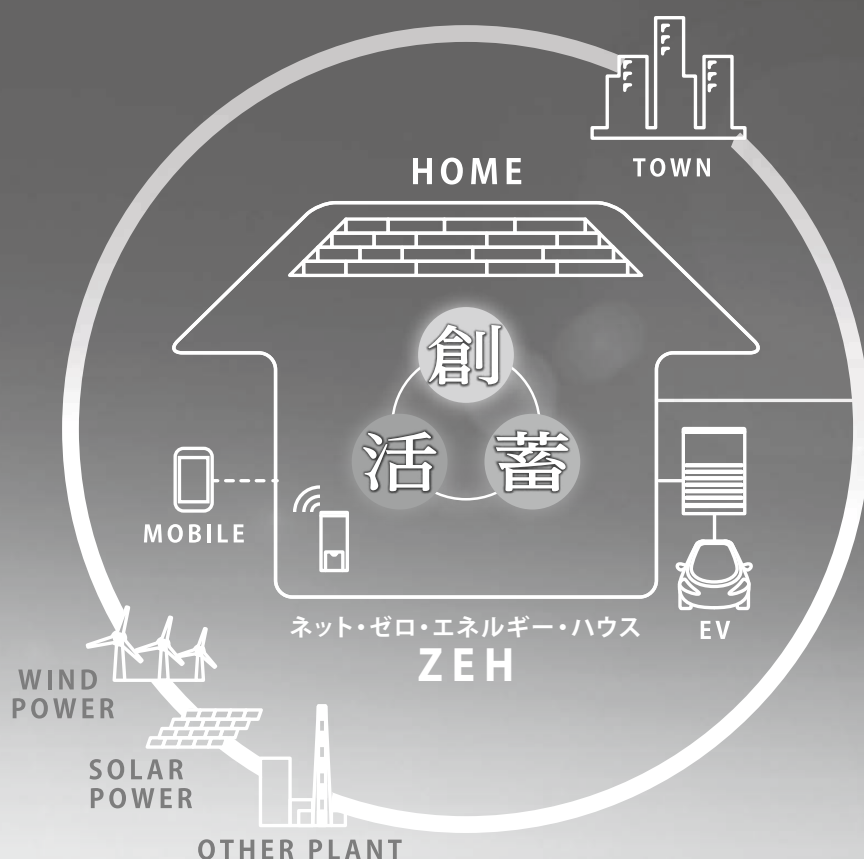
今号は平成期に発刊される最期の南桜風ということで、海洋土木工学科は学科棟の改修工事によるリニューアル、しらなみ会は東北支部の閉鎖と、まさに時代の節目を感じる投稿が寄せられました。

今後も南桜風を通じて、海洋土木工学科・しらなみ会の移り変わりと時代を経ても変わらないものをOB・OGの皆様へ発信できればと思います。

THE NEW VALUE FRONTIER



「わが家電力」で暮らせる毎日へ。



京セラは、技術力でエネルギーを変える。

KYOCERA
THINKING
ENERGY



株式会社 ハマテックス

鹿児島県知事許可（特-26）第1771号



代表取締役 濱園 誠（海士 平成13年卒）

〒891-0131 鹿児島市谷山港1丁目3-34
TEL : 099-261-8400/FAX : 099-262-1022
Eメール : contact@hamts.jp
HP : <http://hamts.jp>

- 建築塗装工事
- 防水工事
- 外壁調査・改修工事
- 鋼構造物塗装工事
- コンクリート構造物改修工事

Smile for you

— 総合建設業 —



株式会社 和田組

和田 正遠（建築 昭和 25 年卒）

大分 本社
〒874-0919
大分県別府市石垣東 10 丁目 3 番 40 号
TEL 0977-25-1221 FAX 0977-21-3825

東京 支店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 4 丁目 21 番 16 号新宿ニューハウジング 1F
TEL 03-6276-8948 FAX 03-6276-8958

URL : <http://www.wadagumi.com>

E-mail : wadagumi@wadagumi.com



鹿児島大学工学部同窓会における個人情報に関する基本方針

プライバシーポリシー

新たに皆様から頂く個人情報及び従来から本会で保有しております個人情報につきましては、個人情報保護法に従い下記のように取り扱います。

1. 個人情報の収集・利用目的

本会では以下の情報を収集いたします。

①名前、②自宅住所、③電話番号、④勤務先、⑤勤務先電話番号、⑥電子メール

2. 個人情報の利用目的

収集した情報は次に掲げる目的で利用いたします。

- (1) 卒業生データの作成・管理を目的とするもの
- (2) 総会等運営のために必要な文書等の送付を目的とするもの
- (3) 会報、名簿および各種お知らせ等の送付を目的とするもの
- (4) 大学への情報提供を目的とするもの

3. 委託先および第三者提供先

この文書に定める利用目的に関連して、機密保持契約を締結した委託先に会員等の個人情報を提供する場合は、適格性を十分に審査し、本会が求める個人情報保護体制を維持できるように管理・監督いたします。

4. 安全管理措置

本会は、この文書で定める事項に適用するように収集した個人情報を安全に取り扱い、不正アクセス、紛失、改ざんまたは遺漏が生じないよう適切な措置を講じます。すでに配布された名簿はシリアルナンバーによって管理されており、第三者が利用した場合はそのシリアルナンバーより所有していた卒業生が判明しますので、取り扱い等には十分に留意してください。

5. 個人情報の開示・訂正・利用の停止等の申し出先

本人が当該本人に関する個人情報の開示・訂正・追加・利用停止の請求ならびに個人情報の取り扱いに関する問い合わせを行う場合の連絡先は以下の通りです。

鹿児島大学工学部同窓会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-40

T E L 099-285-3494

F A X 099-285-3494

E-MAIL : kadai.eng.dousoukai@gmail.com

同窓会ホームページ <http://kadai-eng-dousou.sakura.ne.jp>

同窓会事務局開局日：月・水・金（10時～17時）



Faculty of engineering
Kagoshima university